勝利の伝説シェブロンラインは最高級品の証。

"Chevron-Line" ist der Beweis höchster Qualität.



勝利をめざすなら、選ぶべきだ!

――無言の威圧感を与えるヒュンメル――

DOUBLE SCORE

総発売元株式会社ダブルスコア／総代理店大松貿易株式会社
大阪市南区難波新地3-27プリンスビルB1 〒542 TEL. (06) 213-6646

財団法人　日本ハンドボール協会発足を祝う



財団法人日本ハンドボール協会の発足にあたりひとことお祝いを申しあげます。

半世紀にわたり、わが国のハンドボール界をリード、指導された先輩各位に対しまずもって敬意を表します。

昭和十三年二月、日本陸上競技連盟から離れて創立された協会は、国際ハンドボール連盟の有数のメンバーとして国際的にも活躍されてきました。

また、いち早く、学校体育の中で送球という名において、多くの学生、生徒に親しまれ、これが今日の競技発展の基となったことと思考されます。

（財）日本体育協会
会長　河　野　謙　三

今日、スポーツ団体は、ただ単に同好の志が集まり、試合運営に携わるというだけの時代ではなくなりました世論をみつめ、世に対して責任をもって事柄を処する責任団体としての必要欠くべからざる要件として公益法人化が進められているのであります。

日本ハンドボール協会もこの責務に応えられ法人資格を取得せられたことはまことにご同慶にたえません。

この際、新らしい時代における協会の運営を切に希望し、期待するものであります。

わがスポーツ界も、かつてない程の盛況の時代をむかえましたが、アマチュアスポーツの原点に立った考え方から広く国民の理解と協力を求めてゆきたいものであります。内にあっては、一人でも多くのスポーツを愛する人を得、外にむかっては、アジアをはじめ、世界に対し常に技術的にも、運営面においても範としてリードする立場に立ちたいものであります。

ハンドボール界のすべての役員、選手諸君の今後のご活躍を切望してやみません。

本会の調べによれば、チーム数三千余、選手数五万余人を数えるわが国ハンドボール界のみなさんに、責任団体としての協会の法人化が、今後の発展につながることを確信してごあいさつをお送りしたいと思います。

財団法人 日本ハンドボール協会発足を祝す

文部省体育局長

柳川覚治



近年、我が国では、生活水準の向上や自由時間の増大また著しい平均寿命の伸び等の時代的背景から、生涯を通じて健康で明るい。しかも活力のある生活を送るために、体育スポーツ活動の重要性が広く国民の間に浸透し日常生活の中でスポーツを実践する人々が著しく増加しており、また、国際舞台における日本選手の活躍を期待する国民の声も一段と高まってきております。

さらに、今日では、スポーツが人の集いをつくり、心の交わりを培うものであることから、単なる身体活動の域にとどまらず、健全な社会形成の基盤をなすものともなっております。

このことは、スポーツが正に、人間生活の伴侶とも言えるものになったと申しても過言ではないと思います。

文部省では、これらの状況に対して、かねてから多くの人があらゆる時と所でスポーツに親しめるよう、地域スポーツの振興と国際競技力の向上を目指して体育施設の整備や学校開放をはじめ、スポーツ指導者の養成、ジュニア選手の育成等必要な諸施策を積極的に推進しております。

この時に当たり、日本ハンドボール協会が、財団法人として再発足されることによって、組織の充実、指導体制の強化が図られることは、実に意義深いことであり、これを契機に関係者の皆様が以前にも増してより一層団結され、国民スポーツの一翼を担われるとともに、国際競技会での輝かしい成果を目指して活躍されるよう心から期待しお祝いの言葉といたします。

このたび、日本ハンドボール協会が、長年の活動を基盤に、財団法人として新しくスタートされることは、誠に喜ばしいことであり心からのお祝いを申し上げます。

今日、ハンドボール競技が心身の鍛練と人間形成に大きな効果をもたらすスポーツとして、学校体育の中に位置し、また登録チーム三、〇〇〇を数えるまで広く国民の間に普及するとともに国際競技会においても数々の好成績を収めるに及んでいることは、ひとえに、昭和十三年に協会を設立して以来、普及活動に専念された全国各地のハンドボール指導者をはじめ関係各位の御尽力の賜ものと深く敬意を表します。

明日に向けて力強い躍進を

日本オリンピック委員会
委員長　柴　田　勝　治



日本ハンドボール協会が、懸案の法人化を実現し、将来に向ってゆるぎない体制を整えられたことを、心からお祝いいたします。

日本送球協会の名で発足したのが昭和十三年ですから人間でいうなら四十路の分別ざかりであり〝不惑〟ということになりましょう。ですから今後とも、外には国際的な競技力の強化、内においては市民スポーツとしての一層の普及という両目標をめざして、惑うことなく発展していただくことを念願します。

国際競技力の面では、どうしてもオリンピックが中心目標となりますが、戦前ただ一回実施されたベルリン大会から三十六年を経て復活したミュンヘン大会に、いち早くアジア代表として初出場し、続くモントリオール大会で男女そろっての参加を実現したことは、まことに快挙だったと思います。しかもこの大会で、女子はみごと五位に入賞し、男子も結果としては九位にとどまったとはいえ、西ドイツ、デンマーク、ユーゴなど本場の各チームとほとんど互角の試合を見せてくれたことは、日本代表の意地だけでなく、アジアのためにも大いに気をはいたものです。欧米勢に比し体形的に不利とされた条件を、独自のシュートの創造など頭脳の活用と綿密なトレーニングで克服した選手、コーチ諸君の精進ぶりは、他の競技の範とすべきものでした。

残念ながら昨年のモスクワは不参加となりましたが、来るべきロサンゼルスでは従来以上の活躍を見せていただけるものと期待しています。

国内でも、協会一丸となってのご努力により、学校、職場、地域の各分野にわたり、ますます普及充実の度を加えていることは慶賀にたえません。これも戦前からハンドボール普及に尽力されてきた大谷武一先生をはじめ諸先輩に負うところ大であると、思いを新たにする次第です。しかしながら、率直にいって、先発の他球技にくらべ普及、開拓の余地がまだまだ残されているといわねばなりません。今後競技者層をより厚くすることに成功するならば、国際水準での活躍がさらに期待できると確信します。その意味で、強固な体制を確立された財団法人日本ハンドボール協会が、明日に向けて力強く躍進されるのを、我がこととして念願するわけであります。

日本ハンドボール界の〝新出発〟祝う

（財）日本陸上競技連盟
会長　青木半治



日本ハンドボール協会が財団法人として発足するにあたり、お祝いのご挨拶を申し上げます。

かえりみますと、日本陸上競技連盟と日本ハンドボール協会の間は、因ねん浅からぬものがあり、本家と分家といえる間柄であります。

すなわち、昭和3年国際アマチュアハンドボール連盟が、アムステルダムで創立された時、日本陸上競技連盟の名称で加盟致しております。

その後昭和6年東京オリンピック招致案が東京市会で可決され、ハンドボールの実施も考慮され昭和9年日本送球協会創立準備委員会が、当時の日本陸連会長平沼亮三を委員長として設けられました。昭和12年ワルシャワでのIOC委員会で、昭和15年の東京オリンピックでハンドボールを実施することが決定し、昭和12年12月日本陸連総会に於て送球委員会を独立団体にすることを決定し、あけて昭和13年2月日本送球（ハンドボール）協会が正式発足し、あわせて国際アマチュアハンドボール連盟への代表権も日本陸連より譲渡され、初代会長に平沼亮三氏が就任しております。名実共に独立したハンドボール協会は、日本体育協会にも加盟し、東京オリンピックに向け華々しく出発しました。

その直後、日支事変など国際情勢の変化から東京オリンピック返上が決められ、その後は各競技団体と同様苦難の道をあゆみましたが、昭和21年4月にはOBの皆様の努力により、日本送球協会が復活致しております。

爾後35年の間、東京オリンピックに於けるハンドボール除外にもめげず、昭和47年のミュンヘンオリンピックには、男子が出場11位の成績をあげております。その後昭和51年のモントリオールオリンピックには男女揃って出場し、女子5位、男子9位の好成績をあげております このめざましい躍進の陰には、ハンドボール協会先輩諸氏の涙ぐましい努力の結晶がありました。

又、競技力の向上のみならず、協会の組織、内容も日増しに充実し遂に財団法人日本ハンドボール協会として新しくスタートされることとなりました。

斎藤英四郎会長並びに荒川清美理事長はもとより、幹部の皆様のよろこびも一しおと推察致します。スポーツ団体の仲間の内でも特殊な関係にある、日本陸連にとってこの度の法人化は、わかことのようによろこばしい事で、日本陸連を代表し貴連盟の今後ますますのご発展を心からお祈り申し上げます。

これからも限りなき前進を

(財)日本ハンドボール協会

会長　斎藤英四郎



このたび文部大臣の許可により新生財団法人日本ハンドボール協会が発足いたしました。三年計画のもと基本財産五千万円を目標に募金を開始し、目標にはもう一歩ですが、取敢えずの基金で発足する運びとなりました。

この間各方面から寄せられた物心両面にあたる御援助に対し衷心より厚く御礼申し上げます。

日本ハンドボール協会が設立されてから半世紀ちかく経ったわけですが、この間の先人のたゆまざる努力により、わが国のハンドボールは着実に国民の中に浸透し、ミュンヘンオリンピック参加を契機に国際交流も活発になり、わが国のハンドボールの競技力も国際的な水準に到達いたしました。

法人化したということは、一つの団体が一人前の人格を与えられたわけですが、それは社会的に責任を負える団体になったことを意味します。

それには、財団の基金を中心にして、それなりの人的、物的設備を保有しなければなりません。要をなす事務局の整備がなければ、実りある施策の実行は期待できません。

また、この上に立って、理事、評議員以外からも、幅広く、経験に基づく、あるいは独創性にあふれた意見を求め、これを財団の運営に反映しなければなりません。

いま、ハンドボール界は幾多の課題を抱えています。

何よりも、ハンドボールを中学生、さらに小学生に普及させなければなりません。オリンピック上位入賞が爆発的普及の引金になることはありますが、それだけで普及するわけではありません。ハンドボール競技にはそれ特有のものがあり、息の長い、地道な普及活動がなければなりません。

これには、日本協会だけではなく、それとの連携による各都道府県協会の積極的な作動が強く望まれるところです。とくに末端における指導者の育成とその活用が急務です。

とかく見るスポーツ、楽しいスポーツが人気を集める風潮の中で比較的過激なハンドボール競技を普及させることは困難なことではありますが、体格の割には体力に劣るとされる現代の児童、生徒の体力の向上のためにも、ハンドボールは恰好のスポーツと自負しております。

ハンドボールの普及事業についてももちろんですが、ナショナルチームの強化にも、強化合宿や海外派遣など莫大な経費がかかります。

五千万円の基本財産の運用費だけではたかが知れています。末端の登録選手から徴収する登録料に頼るわけにもまいりません。

財団設立を契機に、各方面の叡知を結集し、ハンドボールの普及にも役立つ方法で事業資金を集める必要があります。

私もできるだけの努力を尽しますので、関係各位の御理解と御協力を切望して止みません。

一九八八年名古屋オリンピックも実現する可能性が濃厚となってまいりました。

スポーツは、国威を発揮するエネルギーです。それは力以外のなにものでもありません。

名古屋を舞台に、ヨーロッパの強国を迎えて、力を競い、技を競う情景が目に浮かぶようです。

その一つの目標に向かって、日本ハンドボール協会の理事からハンドボール愛好者の皆さんにいたるまで、みな一丸となってことに当たれば、前進すべき道は、おのずから拓かれるでしょう。

皆さんの変りない御協力をお願いして、あいさつといたします。

「43年の伝統」継ぎ新スタート

財団法人・日本ハンドボール協会

文部省は、3月11日午後、日本ハンドボール協会が、かねてから申請していた「財団法人・日本ハンドボール協会」の設立を許可した。（示達は3月14日）

この報せは、ただちに日本協会へ連絡され、荒川清美理事長が、文部省へ出向いて公式文書（＝表紙写真）を受けた。申請時点の基本金は三三七九万円、今年度内に五千万円とする。

これにより、昭和13年2月2日に設立され、43年間にわたって、わが国のハンドボール活動のすべてを切り廻してきた日本ハンドボール協会は、3月14日をもって発展的に解消、新団体に、将来を託すこととなった。

財団法人・日本ハンドボール協会は、11日、寄付行為（本誌8～10頁）を発効させ、同日夜、発起人総会を、東京渋谷の岸記念体育会館で開き、新出発を祝った。

法人設立時理事による第1回理事会は、3月26日午後4時から、岸記念体育会館「スポーツマンクラブ」で開かれた。

会長・斎藤英四郎氏
副会長・林達夫氏
専務理事・荒川清美氏
全国理事会 新首脳陣決める

財団法人第1期のリーダーが決まった——法人化後最初の全国理事会は、内外の注目を浴びながら3月26日午後4時から斎藤（会長）荒川、安藤、藤田、林、入江、北川、大野、大西、岡田、境井、若山、山田の13理事が出席して行われた（欠席7理事）。

この日の最大テーマであった新役員人事は、第1議題として扱われ、まず、会長には設立発起人会で既定されていたように斉藤英四郎・会長（69才、新日鉄社長）の就任を改めて満場一致で〃確認〃した。

つづいて副会長については、理事数が20名におさえられていることから1名とすることを申し合わせたあと、林達夫・前副会長（78才大同特殊鋼相談役）の〃留任〃を満場一致で決めた。

焦点ともいうべき専務理事は、前理事長・荒川清美氏（60才、日体大教授）を推す声が圧倒的だったが、同氏が「法人を機会に人心を一新すべきと考え、重任を辞退したい」と述べたため、人選難航の様相となった。

しかし、斎藤会長、林副会長が強く荒川氏の留任を希望、荒川氏は「この一期、それも任期途中でも法人としての活動が軌道にのった場合は、改選していただく」との〃条件つき〃で、就任要請を受諾した。

荒川専務理事は、昭和42年から日本協会理事長をつとめており、これで8選という「長期政権」となり、今期を完了すれば、実に16年間という記録になる。

「国民スポーツ」への飛躍を

荒川専務理事は、ただちに新年度の重点施策として、

①恒久的な財源確保

②四つの世界選手権（男女及びジュニア男女）アジア代表権獲得とロサンゼルス・オリンピックに通じる頂点対策の促進

③国民スポーツとしての成長

④事務局の強化、整備

の四点をあげ、この事業を円滑に促進するための機構と人事をとりたい、と説明した。

新機構については、この理事会を前に、旧常務理事会により、協議が重ねられていた、と伝えられるが、荒川専務理事は「私案」として、機構案（次頁）を示し、各理事の意見を求めた。

各理事とも、小さな修正を望む意見を述べたものの、大綱は、専務理事の構想を了解、試験的な部分も含めて、活動させることとなった。

新機構の特色は、理事数の減少から、精鋭化を打ち出し、これまでの「部」を総務、競技、強化に統括、「専門委員会」の拡充を企った点と、「財源問題」と「国民スポーツ」の両プロジェクトチームを、特設したことであろう。

特に「財源問題プロジェクトチーム」は、斎藤会長、林副会長を先頭にして、大きな目標をかかげて活動することとなった。

また「国民スポーツプロジェクトチーム」は、組織上では、競技部に属すが、クラブ問題、ミニハンドボールの開発を核に、ハンドボールをより国民的なものとする重大使命を負ってのスタートで、法人として、最大の〃目玉〃ともいえる事業だ。

設立発起人会は解散

懸案の法人化は別掲のとおり、3月11日文部省から認可をうけたが、昨年2月以降、財団法人設立発起人として力をつくされていたかたは次の29氏。なお、発起人各氏は3月11日夜、東京渋谷の岸記念体育会館で会合、〃解散〃した。

発起人委員の一人、石切山稔治氏（北海道）は、法人認可の報せを聞くことなく、2月9日病気のため他界された。

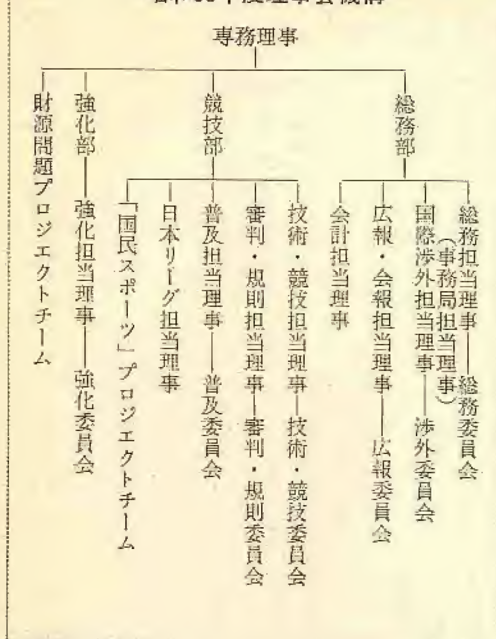
▽財団法人設立発起人代表　斎藤英四郎▽同副代表　林達夫▽委員　荒川清美、安藤純光、遠藤健次、藤田八郎、平田幸男、平岡秀雄、平田源一、入江暢一、池上秀男、伊藤和夫、石切山稔治、北川勇喜、森恭一、中井泰彦、西村孝雄、中沢重夫、大野金一、大西武三、越智武、境井秀三、島田清史、清永正、鈴木雄毅、富永剛、湧永儀助、若山博、山田稔（敬称略、ABC順）

総務系、技術系の各セクション（専門委員会）は、旧日本協会の組織を大筋において踏襲しているが、これまで「日本リーグ派遣理事」となっていた担務が「日本リーグ担当理事」と改称されたのは注目してよい。

日本協会が、6年目を迎える日本リーグの成長を、大きく認めたことになるわけで、近い将来、日本リーグ側から担当理事が送りこまれる布石ともなる。

このほか「審判」が、国際組織にならって「審判・規則」とされたのも、単に、言葉の上での改称に留らぬ大きな意味を持とう。

こうした拡充の一方で、理事数から割り出した縮少も行われ、主なところでは「企画」が消えた。



企画業務は「総務（事務局）」と「技術競技」の合体で取り扱われる予定である。

理事の担当決まらず

骨組の構築がまとまったところで、法人運行のカギともいえる担当理事に、議題が進められたが、20名の理事のうち、会長、副会長を除くと18名の実働力しかない点に、各理事の意見が進中、当然のことながら「適材適所」が要望された。

荒川専務理事は、「一気にこの場で全スタッフを決めたい」としたが、各理事とも、現有人数だけで各セクションを運行することの難しさを指適、一部のセクションは理事外からの人材登用も行うべきだなどの意見もあって、結局、この場での人事決定を棚上げする異例の状態になった。

荒川専務理事は、このため、全人事決定までの〈空白期間〉を、常務理事によって埋めることを提案し了解を求め、安藤純光、北川勇喜、西村孝雄、大野金一、大西武三、境井秀三の在京6理事を常務理事に指名した。

この結果、次回の全国理事会まで、日本協会のかかえる課題は、専務理事と6人の常務理事が、各氏とも〝無任所〟の立ち場で、「連帯責任」として処理することになった。

斎藤会長、林副会長とも〈空白期間〉が、つとめて短かいことを要望しており、担当人事を決める全国理事会は、遅くとも4月20日までには招集されることとなろうそれによる専門委員会の編成は5月中旬には完了の見込み。

一般議題としては、世界ジュニア選手権アジア予選問題が話し合われただけで、女子の日本×中国戦は2試合とも中国で、男子の日本×台湾戦は2試合とも日本で行うことを了承、関係筋との折しようを進めると決めた。

荒川専務理事の話　宿願の法人化を遂げ、私の役目は終ったつもりだった。

新任期は、法人としての基盤固めに全力を注ぎ、若手の育成につとめたい。

理事会は、とりあえず在京6氏に常務理事をお願いしたが、あと1～2名増やすつもりだ。

理事の数が少ないので、委員会代表をオブザーバーとして、理事会・常務理事会に出席させる方法などを考えている。

56年度登録金は現行のまま

日本協会は、法人化が予定より遅れたことから、56年度事業の決定（承認）などが遅滞していたが56年度の登録金については、55年度額を、そのまま据え置くことになり、3月11日付で、各都道府県協会に通達した。

（56年度チーム登録金）高校、高専一、五〇〇円。

一般A、学生五、〇〇〇円。少年（国体のための編成）五〇〇円。

一般B一、〇〇〇円。

（個人登録金）一般A五〇〇円、一般B二〇〇円。

なお、登録手続きの〆切日は、これまでどおり、各都道府県協会を通じ、5月31日までとなっている。

荒川氏、体協理事三選　日本体協は3月27日東京で評議員会を開き、任期満了に伴う役員改選を行ない、荒川清美氏は、理事として三選された。

AHF規則・審判委員長

安藤純光氏を推せん

日本協会は、2月26日東京で開いた常務理事会で、AHF（アジア・ハンドボール連盟）理事会による専門委員長割りあて（＝本誌既報）で、日本が「競技規則・レフェリー委員長」を担当することになった件を協議、安藤純光競技委員長（常務理事）の推せんを決めた。

安藤委員長は、AHFの承認を待って、AHF加盟国のなかから2カ国（2名）の委員を選び、「AHF競技規則・レフェリー委員会」を組織する。

なお、4月以降の世界ジュニア選手権アジア予選（男女）のレフェリーは、すべてアジア地域のレフェリーによってまかなわれる。

高体連部長に嶋田氏再選

全国高体連ハンドボール部は2月の全国委員会で、任期満了にともなう役員改選を行ったが、部長に嶋田新太郎氏（富山）を再選した。

このほかの主要役員も全員留任となったが、新役員名簿はブロック選出常任委員の出揃うのを待って4月末に発表される。

財団法人日本ハンドボール協会寄付行為

第1章　総則

（名称）

第1条　この法人は、財団法人日本ハンドボール協会（外国に対しては Japan Handball Association（略称 J.H.A.））という。

（事務所）

第2条　この法人は、事務所を東京都渋谷区神南一丁目1番1号岸記念体育会館内におく。

第2章　目的および事業

（目的）

第3条　この法人は、日本におけるハンドボール競技界を統轄し代表する団体として、ハンドボール競技の普及および振興を図り、もって国民体育の向上とスポーツ精神の涵養に寄与することを目的とする。

（事業）

第4条　この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行なう。

(1)　ハンドボール競技の普及及び指導
(2)　ハンドボール競技の全国的な競技会の開催
(3)　ハンドボール競技の国際競技会の開催及び国際競技会への代表選手団の派遣
(4)　ハンドボール競技に関する競技規則の制定
(5)　ハンドボール競技の競技力の向上
(6)　ハンドボール競技に関する指導者及び審判員の養成並びにその資格の認定
(7)　日本ハンドボール競技界を代表して財団法人日本体育協会、国際ハンドボール連盟及びアジアハンドボール連盟に加盟すること
(8)　ハンドボール競技の用具および施設設備の検定および公認
(9)　機関誌その他の刊行物の発行
(10)　その他目的を達成するため必要な事業

第3章　資産および会計

（資産の構成）

第5条　この法人の資産は、次のとおりとする。

(1)　設立当初の財産目録に記載された財産
(2)　資産から生ずる果実
(3)　加盟団体の加盟金
(4)　事業に伴う収入
(5)　寄付金品
(6)　その他の収入

（資産の種別）

第6条　この法人の資産を分けて基本財産と運用財産の2種とする。

2　基本財産は、次に掲げるものをもって構成する。

(1)　設立当初の財産目録中基本財産の部に記載された財産
(2)　基本財産とすることを指定して寄付された財産
(3)　理事会で基本財産に繰り入れることを議決した財産

3、運用財産は、基本財産以外の資産とする。

（資産の管理）

第7条　この法人の資産は、会長が保管し、基本財産のうち現金は、理事会の議決を経て、定期預金とする等確実な方法により会長が保管する。

（基本財産の処分の制限）

第8条　基本財産は、譲渡し、交換し、担保に供し、または運用財産に繰り入れてはならない。ただし、この法人の事業の遂行上やむを得ない理由があるときは、理事会の議決を経、かつ、文部大臣の承認を受けて、その一部に限りこれらの処分をすることができる。

（経費の支弁）

第9条　この法人の事業の遂行に要する経費は、運用財産をもって支弁する。

（事業計画および収支予算）

第10条　この法人の事業計画およびこれに伴う収支予算は、会長が編成し、理事会の議決を経て毎会計年度開始前に文部大臣に届け出なければならない。事業計画および収支予算を変更しようとするときも同様とする。

（収支決算）

第11条　この法人の収支決算は、会長が作成し、財産目録、貸借対照表、事業報告書および財産増減事由書とともに、監事の意見をつけ、理事会の承認を受けて、毎会計年度終了後3月以内に文部大臣に報告しなければならない。

2、この法人の収入決算に余剰金があるときは、理事会の議決を経て、その全部若しくは一部を基本財産に編入し、または翌年度に繰り越すものとする。

（長期借入金）

第12条　この法人が借入金をしようとするときは、その会計年度の収入をもって償還する短期借入金を除き、理事会の議決を経、かつ、文部大臣の承認を受けなければならない。

（新たな義務の負担等）

第13条　第8条ただし書きおよび前条の規定する場合ならびに収支予算で定めるものを除くほか

新たな義務の負担または権利の放棄のうち重要なものを行なおうとするときは、理事会の議決を経なければならない。

（会計年度）

第14条　この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

（公認会計士の監査）

第15条　この法人の各会計年度毎の決算報告書は公認会計士の監査を経て、理事会に報告しなければならない。

第4章　役員、評議員および職員

（役員）

第16条　この法人に、次の役員をおく。

(1)　理事18名以上20名以内（うち会長1名、副会長2名以内専務理事1名、常務理事若干名とする。）

(2)　監事2名又は3名

（役員の選任）

第17条　理事および監事は、評議員会で選任し、理事は互選で会長、副会長、専務理事および常務理事を決める。

（理事の職務）

第18条　会長はこの法人を代表する。総理し、この法人の業務を

2　副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、会長が予め指名した順序により、副会長がその職務を代理しまたはその職務を行なう。

3　専務理事は理事会の議決に基づきこの法人の日常業務を掌理する。会長および副会長に事故あるとき、またはその何れもが欠けたときは、専務理事がその職務を代行する

4　常務理事は、理事会の議決に基ずき、この法人の業務を分掌処理する。

5　理事は、理事会を組織してこの法人の業務を議決し執行する

（監事の職務）

第19条　監事は、この法人の業務および財産に関し、次の各号に規定する業務を行なう。

(1)　法人の財産の状況を監査すること

(2)　理事の業務執行の状況を監査すること

(3)　財産の状況または業務の執行について不正の事実を発見したときは、これを理事会および評議員会または文部大臣に報告すること

(4)　前号の報告をするため必要があるときは理事会または評議員会を招集すること

（役員の任期）

第20条　この法人の役員の任期は2年とし再任を妨げない。

2　補欠または増員により選任された役員の任期は前任者または現任者の残任期間とする。

3　役員は、その任期満了後でも後任者が就任するまでは、なおその職務を行なう。

（役員の解任）

第21条　役員は、次の各号の一に該当するときは理事現在数および評議員現在数おのおの3分の2以上の議決により役員を解任することができる。

(1)　心身の故障のため職務の執行にたえられないと認められるとき

(2)　職務上の義務違反その他役員たるにふさわしくない行為があると認められるとき

（評議員）

第22条　この法人には、評議員52名以上60名以内をおく。

2　評議員は理事会において加盟団体（第32条に規定する加盟団体をいう）が推せんする者のうちから選出し、会長が任命する。

3　評議員には前2条の規定を準用する。この場合においてこれらの規定中「役員」とあるのは「評議員」と読み替えるものとする。

（評議員の職務）

第23条　評議員は評議員会を組織して、この寄付行為に定める事項を行うほか、理事会の諮問に応じ会長に対し必要と思われる事項に対して助言する。

（事務局）

第24条　この法人の事務を処理するため事務局を置く。

2　職員は会長が任免する。

3　職員は有給とする。

第5章　会　議

（理事会の招集など）

第25条　理事会は毎年3回会長が招集する。ただし会長が必要と認めたとき、または理事現在数の3分の1以上から会議の目的事項を示して請求のあったときは、その請求のあった日から21日以内に臨時理事会を招集しなければならない。

2　理事会に付議する事項は開催日の7日以前に理事に通知しなければならない。ただし緊急やむをえないとみとめられる場合はこの限りでない。

3　理事会の議長は会長とする。

（理事会の定足数等）

第26条　理事会は理事現在数の3分の2以上の者が出席しなければその議事を開き議決することができない。ただし当該議事につき書面をもってあらかじめ意思を表示した者は出席者とみなす。

2　理事会の議事はこの寄付行為に別段の定めがある場合を除くほか出席理事の過半数をもって決し可否同数のときは議長の決するところによる。

（評議員会の付議事項）

第27条　次に掲げる事項については、理事会においてあらかじめ評議員会の意見を聞かなければならない。

(1)　事業計画および収支予算についての事項

(2)　事業報告および収支決算についての事項

(3)　基本財産についての事項

(4)　長期借入金についての事項

(5)　第1号、第3号および前号に定めるものを除くほか、新たな義務の負担および権利の放棄についての事項

(6)　その他、この法人の業務に関する重要事項で理事会において必要と認めるもの

（評議員の招集等）

第28条　評議員会は毎年2回会長が招集する。ただし、会長が必要と認めた場合または評議員現在数の3分の1以上から会議に付議すべき事項を示して評議員会の招集を請求されたときは、その請求があった日から21日以内に臨時評議員会を招集しなければならない。

2　評議員会に付議する事項は開」催日の7日以前に評議員に通知しなければならない。ただし、緊急やむをえないと認められる場合はこの限りでない。

3　評議員会の議長は会長とする

（評議員会の定足数等）

第29条　第26条の規定は、評議員

会にこれを準用する。この場合において、同条中「理事会」および「理事」とあるのは、それぞれ「評議員会」および「評議員」と読み替えるものとする。

第30条　評議員会を招集する暇のない緊急を要する事項については、理事会の承認を得て、議案に対する評議員現在数の過半数の書面による同意をもって、評議員会の賛成議決に代えることができる。

この場合においては、その結果を評議員に通知し、かつ、次の評議員会で報告するものとする。

（議事録）

第31条　すべての会議には、議事録を作成し、議長および出席者の代表2名以上が署名押印のうえ、これを保存する。

第6章　加盟団体

（加盟）

第32条　この法人の加盟団体は、各都道府県のハンドボール競技を統轄する団体（以下「各都道府県協会」という。）とする。

2　この法人は、全日本実業団ハンドボール連盟、全日本学生ハンドボール連盟、全国高等学校体育連盟ハンドボール部、全日本教職員ハンドボール連盟、全日本自衛隊ハンドボール連盟など全国的ハンドボール団体について理事会及び評議員会の議決を経て加盟団体とすることができる。

（脱退）

第33条　加盟団体はこの法人の加盟団体として不適当と認められるにいたったときは理事および評議員おのおのの現在数の3分の2以上の同意を経て、これを脱退させることができる。

（加盟金）

第34条　加盟団体は、予算の定めるところにより、毎年加盟金を納付しなければならない。

第7章　寄付行為の変更ならびに解散

（寄付行為の変更）

第35条　この寄付行為は理事現在数および評議員現在数おのおのの3分の2以上の議決を経、かつ、文部大臣の認可を受けなければ変更できない。

（解散）

第36条　この法人の解散は理事現在数および評議員現在数おのおのの4分の3以上の議決を経、かつ、文部大臣の認可を受けなければならない。

（残余財産の処分）

第37条　この法人の解散に伴う残余財産は、理事現在数および評議員現在数おのおのの4分の3以上の議決を経、かつ、文部大臣の許可を受けて、この法人の目的に類似の目的を有する公益法人に寄与するものとする。

第8章　補　則

（書類および帳簿の備付等）

第38条　この法人の事務所に、次の書類および帳簿を備えなければならない。ただし他の法令によりそれらに代る書類および帳簿を備えたときは、この限りでない。

(1)　寄付行為
(2)　役員、評議員および職員の名簿および履歴書
(3)　財産目録
(4)　資産台帳および負債台帳
(5)　収入支出に関する帳簿および証拠書類
(6)　理事会および評議員会の議事に関する書類
(7)　庶務日誌
(8)　官公署往復書類
(9)　その他必要な書類および帳簿

2　前項第6号の書類および帳簿は永年、同項第5号の書類および帳簿は10年以上、同項第7号および第8号の書類は1年以上保存しなければならない。

（細則）

第39条　この寄付行為についての細則は理事会の議決を経て別に定める。

付　則

1　この寄附行為は昭和56年3月11日から施行する。

2　従前の日本ハンドボール協会に属した権利義務はこの法人が継承する。

3　第17条の規定にかかわらずこの法人の設立当初の理事および監事は次のとおりとする。これらの役員の任期は第20条の規定にかかわらず昭和58年3月31日までとする。

理事（会長）　斎藤英四郎
理　事　荒川　清美
理　事　安藤　純光
理　事　藤田　八郎
理　事　林　達夫
理　事　平田　幸男
理　事　入江信太郎
理　事　伊藤　和夫
理　事　北川　勇喜
理　事　森　恭一
理　事　西村　孝雄
理　事　中井　泰彦
理　事　大野　金一
理　事　大西　武三
理　事　岡田　豊夫
理　事　越智　武
理　事　清水　正
理　事　境井　秀三
理　事　若山　博
理　事　山田　稔
監　事　松本　重雄
監　事　都野　雄二

4　この法人設立当初の会計年度は第14条の規定にかかわらず、昭和56年3月11日から昭和57年3月31日までとする。

特集・道府県協会寄稿

『新生・財団法人日本ハンドボール協会に希望する』

北海道ハンドボール協会

財団法人日本ハンドボール協会設立に際し、衷心よりお喜び申し上げます。これを機に特集号を発刊することは、日本ハンドボール協会が、先人の偉大なる功績と献身的なご指導、ご協力を礎とし継承し、ますます発展されんことをご祈念いたします。

「新生、財団法人日本ハンドボール協会に希望する」というテーマでありますので、

一、ターゲットを底辺拡大に置き小学生、中学生、主婦を対象に普及活動を積極的に遂行することを熱望します。走、飛、投の三拍子を備えたハンドボールが指導者不足、PR不足、その他の事情により国民スポーツとしての地位を困難にしていることは残念なことであります。

二、見聞の機会に恵れずして、興味を持つことを期待することは無謀なことと思われます。報道機関の利用、開催地の分散化を推進して下さい。

三、ハンドボールの魅力開発について、パワフルなスリル、逆転の迫力等に不足しているように思われます。五点差は、以後の試合の興味を失ないます。

以上申し上げましたが、北海道ハンドボール協会も創立三十周年を迎え、日本ハンドボール協会と共に一層の発展を念願いたしている次第です。

宮城県協会理事長 森　恭一

日本協会が法人化されるにあたり、協会にたづさわる者として、幾多の変遷を顧み、今日の隆盛をみるにつけ、感銘すら覚えるものです。その支えこそは球界諸先輩のたゆまぬ業績が土台であり、ここに雄々しく一本立する協会のより一層の発展こそが現役にかせられた使命かと痛感するものです。

日進月歩、ハンドボールは着実に成長し、社会的位置づけも定着しつつあります。この機会に躍進を願うものとして、執行部サイドの斬新な企画、運営が待たれます。

今迄、財政的な面で座礁しがちだった施策を手直し、球界一体となり実現の方向で努力したいものです。法人化での財源の確立、といっても苦慮すべき面は財源の確保だと思います。教職関係者で大半を占める協会だけに行動範囲にも限度があり、執行部に各方面よりの登用を計り、厚い組織づくりも必要です。財源の裏付により奇策も可能であり、頂点強化、底辺拡大にもつながるものと思います

秋田県協会理事長 由利　弘

かねてからの念願であった、日本ハンドボール協会が新しく財団法人として発足することになったことは大変喜ばしいことで、特に設立のため努力して下さった関係者にあらためて敬意を表したい。これからは社会的にも認められ今迄と違う別な認識で評価されるようになり、新しい規約によってその運営にあたることになると思われるが、私達はその財産の果実の上手な利用を考えて欲しいと特にお願いしたい。

モスクワオリンピックは夢に終ったが、次のオリンピックはアメリカであり、名古屋オリンピックが開催されようとしている現在、今後の日本ハンドボール協会は安閑としていられない。アメリカに近い日本は次の名古屋と続くオリンピックを前にして、東京オリンピックの二の舞を踏まない保障はない。

丁度良い機会に財団法人として発足する日本ハンドボール協会は対文部省初め日体協にも強力にはたらきかけ、四六年度体育スポーツ関係予算三四五億五千万の中少しでも補助を多くしてもらうことや、財団法人として税金のかからない事業を多く実施し、国際的にも国内的にも大いに飛躍することを希望したい。

福島県協会理事長 遠藤　道雄

日本協会が各関係者の努力で法人化し法的に強化されることは我々ハンドボールを愛する者にとって至上の喜びです。

日本協会の法人化が提起され決議された時、福島県協会はこれを全面的に支援し協力して今日に至りました。

この法人化を機会に次のことを要望します。

一、各県の法人化負担金の全納努力を――負担金納入に非協力県があるとのこと、これは日本協会が全国ハンドボールファンのものになっていないからで、日本協会は各県協会の信頼を得るための積極的な努力をすべきである。

二、地方の普及、強化を――トップの養成と強化の必要性は十分理解できるがそれと同等にこの問題を考えてほしい。(1)技術指導者の地方派遣を積極的に、(2)普及・強化用の視聴覚資料の整備と貸出の努力を、(3)普及部の予算人事の強化を。

三、日本リーグ、外国チーム招待試合のテレビ放映、PR・スポンサー確保の積極的努力を

四、日本協会事務局予算の適性化の努力を、

以上の四点は我々地方ハンドボール愛好者の願いでありますが一方日本協会の発展につながるものでもあると確信しますこの点の研究、努力を切に願うものです。

石川県協会理事長 若山　博

願望の一つが関係者の多大の御努力と各界からの浄財によって財団化が目前となったことは誠に嬉しい限りです。

世は成熟し高度化して行く時代を迎へて、日本ハンドボール協会は社会的人格を持つ法人組織に脱皮するこの時、現協会の見直しをし、長期の展望の中で活力ある諸施策の進捗をはかると共に財団としての基金の増大をすすめ財務の

確立につとめるべきであり、その果実をもって指導者の育成、選手強化にあてるべきでありましょう

協会運営の根底をなす事務局の強化、待遇改善、事務の簡素化を図らなければならないと思います

この際関係機関からの補助金を求めハンドボール専用の中央体育館建設の構想をたて、ビッグゲームの開催、ハンドボールスクール選手強化などに役立て愛好者の域としたいものです。

今春始められた地域別のジュニア対策に含めて加盟団体の育成強化を進めて載きたい。その一つに常に協会の底辺をささえた地方協会があります。

ハンドボールの普及、PRを更に広めるのに、日本リーグを多面的に充実すべきであると考えますリーグは第六回を前にして運営、内容、プログラム等に工夫の跡が見られ、選手も頑張っています、だが今一息マスコミの報ずる量が少ないと思います。テレビ、新聞雑誌に取上げて貰う努力を重ねるべきです。立派な新生協会を創りあげて行く姿勢、心構えをもって飛躍されんことを希むものです。

福井県協会理事長

竹田　弘

日本ハンドボール協会が、財団法人となるにあたり、基本的財産の準備、設立の為の許可申請、理事の選出などと多くの問題をかかえながらも、その努力、精進が報われようとしている。

勿論、基本的に協会の目的や事業内容が極端に変るような事はないとしても運営上、文部省、日体協などの今まで以上の強い連がりや指導がなされて来る事であろう全国的規模の団体として、社会的にその責任は重く、改ためて、その重大さを感じ、そして強い関心を持たざるを得ない。地方協会が日本協会に希望することは、組織の強化（母体として事務局）である。その為の中央理事の全面支援と職員の増強は当面の課題であろう。又、地方代議員が今までの様に単なる承認機関とならぬ様、地方協会の意見、希望を受けられる様な基本的体勢を取って頂ける様な基本的体勢を取って頂ける様御配慮願いたい。

又、普及、振興を図る事において、年間の行事であるところの全国的、国際的競技、技術の指導、講習会、或いは、審判員の養成などに対しては許容範囲において積極的に地方開催の試みがほしい。又、地方の指導者にとって唯一の情報である月刊誌の内容についても、地方の成績だけでなく、全国各地に居られる優秀な指導者が日夜努力されている様子の紹介や技術を高める為の効果的指導方法やその内容等、初心者にも解り安く貴重な資料となる様考慮される様願っています。大極的な知識もさる事ながら、現場が望む声も聞いて頂ける様御願いしたい。それぞれの立場での要望は強いては日本協会発展の基礎となる事を信じ、ここに要望させていただきました

今後の、ますますの発展を願ってやみません。

長野県協会理事長

柳沢　民弥

日本ハンドボール協会が、愈々財団法人化される運びとなったことにつきまして関係各位のご努力に対し、敬意を表すとともに、心からお祝い申し上げます。

現在、日本のハンドボールは、技術面、また競技人口からみても他の競技団体に劣るとは思えません。

しかしながら、観るスポーツとして他のスポーツに相当遅れをとっているように思われます。

日本ハンドボール協会が、現在まで法人化されていなかったということを不思議に思う人達が多勢いると思われます。

「新生財団法人」日本ハンドボール協会が、国民の中にハンドボール競技を浸透させ、質量ともに国民的スポーツに発展させて行かれることを、強く期待します。

茨城県協会理事長

高島　耕義

日本ハンドボール協会が、財団法人として新らしく、しかも力強く生れ変ったことに対しまして、心からお慶び申し上げます。また法人化のために、積極的に推進してこられた多くの方々には、ご苦労が多々あったことと深甚なる敬意を表するものでございます。

財団法人となったことは、人生にたとえれば成人式を迎え社会的に一人前として扱ってもらえることであると思います。すなわち、日本ハンドボール協会もいよいよ成年充実期を迎え、増々発展躍進の期にきたということではないでしょうか。同時にまた、それなりの法的規制も受け、今までよりしっかりした運営と実績を積み上げなければならないと思います。

協会に関係する者はもとより、ハンドボールのプレーヤーの一人一人までが、このことを自覚して一層結束発展のために総て私心をすてて、ハンドボール精神の真髄を身につけるべく心を一つにして進まねばならないと思います。

財団法人化を一つの契機としてハンドボールが更に国民の間に浸透普及し、国民の体力向上に大きく貢献することの誇りと期待をもち、それを実現させるため邁進し廿一世紀の歴史へ飛躍されることを切に望むものです。

埼玉県協会理事長

遠藤　健次

法人化やっと他競技団体と肩を並べましたね。いわば成人式を迎えたわけですが土台はまだ固まっていません。しかも他に追いつけ追いこせの精神も結構ですが先ずあせらず着実に地固めをしていただきたい。

それには先ず第一に自己資金の確保、又財源ともなる行事の実施但し国際交流の計画立案については慎重にし確定後の変更を最少限にくいとめてもらいたい。当然なことであるが変更後の対処にも細心の心くばりをお願いする。こんなことでも普及に役立つものを考えているから。

次に国内の三本柱である強化普及、競技を中心にそれぞれ充実をはかり地方、ブロック、更に下部組織の連絡をとりたい。そして法人に対して全面協力をできるような納得のいく運営を希望している

末筆ですが、今日まで法人化に対し、日夜努力くださった各位に心よりお礼申し上げ、今後の発展を願う次第です。

千葉県協会理事長

本間 誠章

財団法人日本ハンドボール協会の誕生お目出とうございます。

今ここに名実共に安定した組織として成立したことは、一地方の協会といたしましても非常に喜こばしいことであり、今後の協会の発展、活躍に期待するものでもあります。

我々県協会としては、全国の中心となり指導的立場にある日本協会が経済的にも、実現的にも安定し充実した状態において地方に指導してくれること。又ナショナルチーム等が世界の上級に入賞してくれることなどが未普及種目の段階にある我が県において大きなPRともなり良き手がかりともなりうるのです。運営に苦しむ県協会も今後技術的にも経済的にも良き指導と援助をしてくれることと期待してやみません。

最後に財団法人化するためにいろいろ御尽力下さいました関係者各位に深く感謝申し上げるしだいです。

山梨県協会理事長

清水 正

日本のハンドボール界の永年の懸案であった財団化が、やっと実現の運びとなったことは、関係者の一人として誠に喜ばしい次第であります。

日本のハンドボール競技は、戦後三十五年を経て、技術の進歩は勿論、国内での普及・国外での活躍とめざましい躍進を成し遂げました。この統轄団体である日本ハンドボール協会は、まだ一人前の団体として社会的に認められていなかったのでありますが、財団化の承認により、独立・独歩する、成人団体として名実共に認められた訳であります。

この間先輩達の競技への愛情と努力が、多くの難問や障害に打ち克ち、今日の基盤を造り上げた労苦を忘れることができません。

競技に関係する者全員が財団化による、責務の重大さを自覚し、成人としての協会の発展に努力することが、財団化の意義を一層深めるものであり、先人のご労苦に報いる唯一の道であると思います。

ハンドボール競技が益々発展することを信じ、是非そうなってもらいたいものと念願するものであります。

財団化に際し、選手強化行事と・普及行事のアンバランスについての指導があったとも聞いております。今後の協会運営についても各都・道・府・県の現状を広い視野に立って眺め、マンネリ化したものでなく、漸新的なより強力な援助と指導を切にお願いするものであります。

静岡県協会理事長

吉田 定静

八十年代の幕あけにモスクワオリンピックで好スタートの予定が国際事情のため、一寸つまづいた日本のハンドボール界も関係者のご努力で財団化されるとのこと、およろこび申し上げます。

さてバレーボールが東京オリンピックから又サッカーがメキシコオリンピックから国民の脚光をあびてきたようにわがハンドボールもこれを機会に八十年代の華となるよう希望します。現在私達のまわりを一寸見まわすとサッカー少年団や婦人バレーボール、父親ソフトボール等が盛んに行われています。学校体育では欠くことのできないハンドボールがこれらの競技の後塵をはいしていることは真にさみしく思います。国際的な実力も世界の一流国と肩を並べられるようになった現在、協会の方から是非マスコミへも、もう一度猛攻撃をかけることを期待します。又バレーボールやサッカーにはそれ専門みたいな解説者がいて一般視聴者を結構喜ばせているようです。ハンドボール界にもそういう人物が出現して威勢のいい「ハンドボール節」を全国津々浦々まで是非聞かせて欲しいと思います。

八十八年の名古屋オリンピックにはメダル争いと共に日本全国民が皆血をわかせるようなハンドボール競技に発展するよう心から願います。

三重県協会理事長

中根 武彦

①報道関係へのPR

ボールゲームの中ではまだまだマイナースポーツであるため、全日本大会のみならず新聞紙上への報道とテレビ中継（全日本各大会）の実現を目指す。特に新聞での報道を日本リーグで見てみると、他のスポーツに圧倒され片隅に掲載されている程度PRに最善の努力を計り早期にマイナースポーツから脱却を望む。

②財源の確保を目指せ

寄付行為にのって、寄付金品を集め、負担金の値上を極力なくすよう努めるとともに事業に伴う収入と上げるよう努力してほしい。

③地方協会等へのメリットを示せ

財団法人化実現のため、地方協会等苦しい財源の中から募金に協力してきたが、法人化後地方協会等へのメリットを示してほしい。また、現状の機関誌は我々には魅力のないもの、ハンドボールマンが読んで納得いく魅力ある機関誌になることも望む

岐阜県協会理事長

岡田 重博

昭和十年代の始め、日本陸連の中に預り子として生声をあげてから、四十年、待望の財団法人発足の報を得ました。

この間、窮乏財政の中で今日まで御尽力を賜った先輩の方々に、構成単位の代表として、又同好の一会員として感謝申し上げます。

さて、今日までのハンドボール界を省みますに、私共のような、未熟な地方組織の存在や、組織代表と称する個人的な我田引水の言辞が、協会執行部の大きな負担となって来たことを素直に認めねばなりません。

一方地方に聞えて来る中央での門閥、人脈に係る我利々々体質など、前時代的風評が、末端の地方会員の活力を阻害して来たことも否定出来ない実態でありました。

新規発足に当り敢えて一言希望を述べさせて頂きます。

定款で明確な位置ずけがなされました。財団法人日本ハンドボール協会の専務理事には、斯道百年の大計を処し得る、従来までの運営的才覚のみでなく、経営的な感

覚で地方協会をも指導願える方の登場を切望致します。
　卑近な側で恐縮ですが、私共岐阜協会の会長が常々申す言葉に、「ハンドボールの先生方は、どうして規則だ、内規だと称して自分達の活動力や、行動を縛るのか？同好者間の約束ごとは、自分達の活動し易い、利益の得やすいよう作るはずなのに……」と。
　私の意図する所を御理解していただきたくて一文を致しました。

滋賀県協会理事長
佃　幸太郎

　第二章の第三・四条を私は期待したい。財団法人が実現することによって各都道府県及び各チームは自覚を持ち、社会体育が発展するよう願いたい。例えば、日本リーグチームが国体に出場しているようでは、いつまでも国際的にはばたくことは難かしい。世界に日本ハンドボールを位置付けするためにも、日本リーグチームは世界を目標に、また底辺、弱小県を開拓してゆくためにも、目的及び事業を実現し、世界一の日本ハンドボール協会になることを希望する。

奈良県協会理事長
土井　喜光

　今回の日本協会の法人化は、発展のためのステップであったではあろうが、私共弱少県協会にあっては、大いにその台所がゆらいだことは誠に恥かしい事ながら隠し難い事実である。
　地方協会の世話役として、法人化について組織下の各団体についての説明の段階で、私の不勉強も手伝った事もあったものの、特にハンドボールをしていればそれだけで楽しいんだというようなクラブや、やっと同好会からクラブになりました。という中学や高校の方々に、これが法人化された場合の貴方のクラブのメリットなんですと説明しきれないままで、列車に乗り遅れては……と、停車駅も確認せずとび乗ったという処が正直いって私共の協会の姿であり激震のための穴埋めに、これから何年かかるかセコイ計算をしている次第である。
　新生財団法人日本ハンドボール協会に希望したい事は、その傘下にはこんな地方協会もあるのだという事を忘れてもらっては困る。
　新しき門出に只々弥栄をうたいあげるべきかも知れないが、敢てイイカッコはしないでいいたい。ピントはずれの感なきにしもあらずではあるが、真実を訴えて、後日「やっぱり無理をしたが君のクラブにも喜んでもらえる協会だったね」と若いハンドボールマンに語ることのできるような、キメのこまかい味のある協会運営を切望する次第である。高い処に土もち

—全国連盟を代表して—

全国高体連ハンドボール部部長
嶋田新太郎

　いよいよハンドボールを愛好した人々の手によって財団法人化の実現が近づいたことに拍手をおくりたい。
　今まで多くの人達が底辺拡大に努力し、ナショナルチームはミュンヘンオリンピック大会を頂点としてモントリオール大会では男女チームの出場が果され、アジア選手権大会にも優勝する等期待するところ誠に大なるものがあります
　世界にも日本の存在が認められてきた今日、われわれの日本ハンドボール協会加盟の高体連ハンドボール部として双手を挙げて「お目出度う」と申し上げたい。
　国内的には、日本ハンドボールリーグが五年目を迎え、全日本総合大会も新しい企画のもとに開催されるときく。
　しかし協会の事務局には理事諸君の顔が頻繁に見られない。
　常務理事は殆んど東京周辺の人が多い筈である。
　もっと仕事をし考え、新しいアイデアを討議し地方徹底の業務として取組んでほしいと思う。
　何から何まで理事長の決断と判断にまかせないでむしろシャッポにしていく意欲がない。
　理事長は日体協との大きなパイプと国際問題で恐らく頭が休まる暇さえなかろうと思う。
　お互いの分野をしっかり果すことによって大きな和と力ができ、更に一歩を踏むことができるのでなかろうか。
　国内にはハンドボールを愛好している者が数多くおります。
　互いに足を引張り合わないで苦言を聞き更に愛の手をさし出すこそ今後のハンドボール発展が期待されると信じます。
　全国高体連は今後更に発展していくことと思います。
　ハンドボールと取組むものと、これをどうしていくかという船頭によって方向が大きく展けてくることでありましょう。
　われわれが協会に対し期待するものが大きいだけに又心配もあることを心に止めて、財団法人日本ハンドボール協会の発展を祈念し協力を誓いたいと思います。

をしただけだったと言わせないで欲しい。

広島県協会理事長　平田　幸男

この度び、各方面から多大の御援助と御協力により、念願の財団法人化が実現をみるに至ったことは、誠に喜ばしく、何はともあれ一歩も二歩も前進だと確信致しております。

これで名実ともに社会的に公としての団体誕生であります。私は今日に至るまでの過程にたいしてその御労苦に感謝いたしたいと存じます。旧日本ハンドボール協会はあくまでも任意の団体であり、業務の遂行上ややもすると妥協、あるいは安易な了解等で成立しがちだった面も、今後は責任を負いながら業務を遂行しなくてはなりません。どうか地方からのより建設的な意見を寄せ得られる窓口を開き、業務分担を明確かつ細分化され一層の御協力が得られるよう心がけてゆきたいものです。当然のことながら、経済的な面に於けることがら等々も総べて寄付行為に基づく執務施行となり、税対象寄付金、補助金等において営利を目的としない法的団体だけに行政官庁からの目も注がれて来るものと考えられます。いづれにせよ今回の財団法人化を機会に、私はより「充実化と実践化」を綿密に計り、広く国内、国外に目を向け一段と向上、発展することを、切望し、新生、財団法人日本ハンドボール協会発足にあたり、ここに恐縮ながら義務と責任についての一端を述べさせていただきます。

山口県協会理事長　田原　正美

ハンドボール競技は、投跳走の運動の基本を、最も単純な形で表現する、誰にでも出来るスポーツ競技として、普及に努めて来たところであるが、栃の葉国体を観戦して、競技者の力の差が、これほど相手にみじめな思いをさせ、観戦者の多くをがっかりさせ、ましてや該当県の関係者にとっては怒りとして映った競技はないだろうそれは、現在日本リーグ上位にあるチームと、一同に会することもままならない地方のクラブチームとの対戦を見て感じたことである

国体が各県対抗の競技運営であるかぎり、勝負を意識して試合を行うことは当然であろうが、世界を相手として技をみがき、力をたくわえたチームと、地方スポーツの振興のために力を尽すチームが同一土俵の上で戦うこと事態に問題があるのではなかろうか。中学・高校・大学それに一般と、それぞれの段階における競技会があり身体発達の状況等考慮されなければならないが、一般のチームについてはそのチーム形態も考慮し、会社工場等の組織チームや、一般社会人の同好者で作られたクラブチーム等、登録されたチーム等今一度分析し国体のような場での土俵を見直す必要があるのではなかろうか。

今、日本協会の法人化を祝い、今後の一層の発展を祈るとき、直接法人化に関係された方々への謝意はもちろん、地方協会の多くの関係者（競技者以外の協力者も含め）に対しても深く感謝することを忘れてはならない。

徳島県ハンドボール協会

日本協会の財団法人認可、おめでとうございます。

私共、徳島県協会は、いつも他県の協会や日本協会にご迷わくをおかけして心苦しく思っている次第です。

私達は自分なりに本県のハンドボールの底辺を広げるべく手は尽くしているつもりです。しかし、まだまだ努力が足りず弱小協会の名をとどめていることをいつも残念に思っております。ご存知の通り、本県の産業構造からして過疎の波をおし止めることはむずかしく、従って〝指導者不足〟が最大の懸案事項です。また、良い試合を見て刺激をうけたり参考にしたりすることもできない地理的悪条件もあります。そこで私達が望みたいことは、以上のようなハンディを克服できる機会を多くつくっていただきたいということです。例えば何も特徴のない本県ではありますが、大学生の合宿をお世話願うとか、協会のコーチ陣におこし頂くと大変ありがたいと思います。我身を省みず自分勝手な申し分ではありますが、私共の願望としてお聞き願えれば幸甚に存じます。

福岡県協会理事長　篠崎　省吾

全国各地でハンドボール競技の普及発展に日々ご尽力される多くの人達の熱意と、浄財によって新しい機能を備えた協会が発足することは、九州の地において「ハンドボール」ってどんなスポーツですか」とか「新聞のスポーツ欄にものらんとですか」という人達の多い中で、悶々として自分の無力さを嘆く者にとって、新しい希望をいだかせる「新星」の出現である

組織の拡大、事業の多様化等で今日迄当面する事項の対応だけで多忙をきわめていた運営面が、新しい法人化という変化のなかで、日本協会でしかできない事項を中心に組織的に検討され、長期にわ

たる広い視野のもとに企画が推進されるように願いたい。確かに各種の大会を運営推進するのも大切な任務であることは判るが、本当に大きい力をもってしかできないことは何だろうか。それはハンドボール競技を通して、一人でも多くの健全な身心を備えた人間を育てることのできるよう、競技を魅力あるものとし、多くの愛好者に楽しさと、誇りを感じさせるものに視野が拡大される必要があるのではないだろうか。そのためには選手個々はもとより、ルールの改正、大会運営、地方協会指導、広報等々、すべての組織活動を担当される各位が、重要な観点として意識され企画運営に参画されることをお願い申し上げます。

大分県協会理事　藤原　泰郎

「新生日本協会」と呼べるに相応しい真に「新生」のために――近頃は四十代を熟年と言う。「働き盛り」を意味してのことであろうか。時恰かも日本協会は熟年四十三才を迎えて財団法人化され、お祝いの言葉が並べられると思うそこで敢えて「新生」に相応しくそれにまつわる苦言を呈したい。名もなく力もない一後進田舎地方協会のひら理事。最底辺の遠吠えと聞き流していただいても結構。

「財団法人寄附行為」をみる限りに於て、直接関心を抱かされるのが最高決議機関としての評議員会、そこで選出され執行運営に当られる理事、それらの下で活動される事務局。それぞれ過去の概念で事に当られれば問題山積。どうか過去の名誉職的意識を払拭されてのご活躍を願いたい。そして主組織たる縦割り地方協方と既存の横割り諸加盟団体。とりわけ後者の横割り組織の中に継子的なクラブの問題が在る。専門委員会の中に「小委員会」は在るが。頂点強化と底辺の普及拡大も必要結構。しかしその中間的存在たるべき中学なり高校なり大学なりで、あれだけ燃やしたぎらせた情熱とエネルギーの再編成と再組織と維持育成がどれ程なされたのか。「ハンドボール一九一号プレスルーム」のようなご批判はあろうが、しかしクラブの横割り組織化が後進地方協会の育成発展の問題に係るのではなかろうか。それは一に国体の問題であろう。メイジャー他種目なみに日本リーグ勢の国体出場ご辞退を願ったら、後進地方協会の意欲と意識の向上は必定で、低次元の問題は克服されて日本協会のより一層の発展に連るものと思う。

そして更に「新しい酒は新しい革袋に盛られねばならない」の通り、ユニークで斬新な発想を期待しての人事の刷新にまでいってほしいと思うのは、独断偏見というものであろうか。

沖縄県協会理事長　平仲　孝栄

日本協会が、創立40周年を迎え祝福したのが、一昨年の2月4日であった。

それから2年、今度は、任意団体より財団法人として新出発することに対し、沖縄県協会を代表し衷心よりお祝い申しあげます。

法人組織化するまでには、斎藤会長、荒川理事長を始め、執行部の方々の御苦労は並大抵のことではなかったと思い、その御苦労に真心から感謝申し上げます。

日本協会も、その名の通り、今までの任意団体と異り、形式的にも、実質的にも重みを増すとともに、内外に対する責任も、重且つ大になります。

そこで、望みたいことは、第一に競技発展のために、総合的な長期の展望と構想を建て、その達成のために、実施計画を関係者に示してもらいたい。

第二に、国際的交流もよいことであるが、この辺で、もっと地方に目を向け、地方協会と組織面のみでなく、実質的に、密接にいろいろな面で、交流を盛んにし、地方協会の負担と、地方協会への還元の均等、各種行事の機会均等、底辺の拡大、競技力の向上、審判技術の向上を計って戴きたい。

第三に、恒久的な財源確保を計るべきである。

地方協会としては、日本協会への負担は限度に来ていると思う。

その場しのぎの財政では、将来が覚束なく思います。

第四に、もっとハンドボールを国民に理解してもらう努力を深めてもらいたい。

ハンドボールは、他競技のように、全国的大会を開いても、観衆も少ないし、マスコミも、あまり取りあげてくれないと聞いていますが、競技そのものの魅力は、けして他競技に劣らないものなので積極的にマスコミなどと連けいを持ち、PRする必要があると思う

以上、申しあげましたが、本当に「言うは易く、行うは難し」でありますが、執行部の方々の、今後の御活躍を御期待申し上げ、新生財団法人・日本ハンドボール協会の限りない発展を、お祈り致しまして結びといたします。

〔おことわり〕この特集は、法人化を55年12月までと見込んで、ご寄稿いただいたものです。そのため、現時点で役職の変わられた寄稿者もおりますが、法人申請中からの企画ということで、そのまま掲載させていただきました。

HANDBALL SPECIAL

NEW

3063 ¥12,000

3064

3065

SPECIAL

新登場、ハンドボールスペシャル。なぜ、「スペシャル」なのか。



あのシェルソールが、ダッシュ力、ストップ性、衝撃吸収性をアップ。

世界選手権を始め、国際大会で圧倒的な使用率を誇り、数々の栄光へ導きつづけるアディダス・ハンドボールシューズが、スポーツ科学の最新の成果を背景にさらに新たなシェルソールを装備して登場しました。その名も「ハンドボールスペシャル」。速攻性の追求はもちろん、ソールの溝は極限の倒れ込みシュートでも安定した軸足を確保。ターンを容易にする回転ゾーンやグリップ性を高める吸盤、トレフォイル(3つ葉)パターンなど、ハンドボール競技におけるフットワークの意味をマキシムまで追求し、ダッシュ力、ストップ性、衝撃吸収性をさらにアップしています。

勝利を呼ぶ3本線

adidas

The science of sport.

KSG 兼松スポーツ用品株式会社

〒532 大阪市淀川区木川東2-5-3☎06-305-1431 〒130 東京都墨田区緑2-12-3☎03-634-1411

東ドイツ×中国戦は28日名古屋で
～5月の国際大会日程案まとまる～

〔第1次案(3月15日)〕

	国際公式大会（内定）	男子親善試合（案）	日本中国女子交流（案）
5月22日（金）	外国チーム来日予定日		
23日（土）			（関東又は関西地区） 中国――対戦相手交渉中
24日（日）	◇第1日（大阪市中央体育館） ・東ドイツ――日本B ・日 本 A――中 国		
25日（月）		（広島） 東ドイツ――湧永薬品	（京都） 中 国――立石電機
26日（火）			
27日（水）		（名古屋） 中 国――大同特殊鋼	（名古屋） 中国――ブラザー工業
28日（木）	◇第2日（愛知県体育館） ・日 本 A――日本B ・東ドイツ――中 国		
29日（金）			（栃木）＝交渉中 中国――日立栃木
30日（土）	◇第3日（東京体育館） ・日本A――東ドイツ （14：10～15：30，ＮＨＫ―テレビ） ・中 国――日本B		（東京体育館＝予定） 中 国――全日本
31日（日）			（茨城） 中国――日本ビクター
6月1日（月）	外国チーム離日予定日		

アメリカは不参加

日本協会は、ファン待望の男子国際大会の受け入れ準備を進めているが、このほど、スケジュール第1次案を、別表のようにまとめ関係協会との具体的な折しょうに入った。

大会は、当初予定していたアメリカ男子が、いぜん、態度を保留したままのため、参加不可能と判断、結局「三カ国対抗」に落ちつくこととなった。

これにともなって、かねての計画どおり全日本はA、Bチームを編成〝三カ国四チームリーグ〟で競技が進められる。

試合地は、本誌既報のとおり、5月24日大阪、28日名古屋、30日東京が確定、注日の組み合せは、日本協会・大野総務担当、北川企画担当両常務理事によって編成された。

外国チーム同士の激突という、いわば今回の〝目玉〟東ドイツ×中国戦は、名古屋（28日）に決まり、上海市と姉妹都市関係を結ぶ大阪（24日）で日本A×中国、NHKテレビの中継が内定した東京（30日）で日本A×東ドイツが行われる。

親善試合は「各地からかなりの申しこみがあった」（北川常務理事）が、公式戦の合い間に組まれるという事情もあって、全日本総合優勝の湧永薬品(広島)、日本リーグ優勝の大同特殊鋼(愛知)に限定、大同は、七年前に名古屋で東ドイツ戦を行っていることから今回は中国戦、湧永が東ドイツ戦を割り当てられている。

なお、公式戦の大会名称は、未定のままだが「日本・中国・東ドイツ三カ国対抗」となりそう。

全日本女子戦は検討中

一方、初来日の中国女子の〝人気〟も高く、担当者は調整に手間どり、いぜん、案段階で止まっている。

本誌〆切り日（3月25日）現在京都の立石戦、名古屋のブラザー戦が確定した以外は流動的である全日本女子は、当初、大阪（23～24日）にも予定されていたが、全日本実業団選手権（大阪）と日程が重ったため、東京での一試合だけとなりそう。

この案でいけば、30日の東京大会は、三つのナショナル・マッチというかつてない豪華なマッチメークだ。

外国チームはいずれも5月22日来日、4月中旬にはメンバーが届けられる。

日本の男子A、Bは、4月末までに発表され、Aは幻のモスクワ代表主体、Bは若手中心、女子は来年の世界選手権予選へ向けてのスタートとなる。

4月23、25日日本×中国(女子)か
世界ジュニア・アジア予選

注目の第3回世界ジュニア選手権アジア予選は、本誌既報のとおり、2月クウェートで行われたAHF（アジアハンドボール連盟）理事会で、男女ともナックアウトシステム（各カード2試合）採用を決め、IHF（国際ハンドボール連盟）へ提案、IHF側も、これを了解したが、そのあと、男女各カードの運営については、ほとんど進展を見せていない。

AHFは、例えば、韓国―台湾の女子1回戦は、韓国、台湾両協会間の話し合いで試合地、試合日時を決めてAHF及びIHFへ報告、レフェリーとウイットネス（立ち会い人）の派遣を要請することになっている。今のところ、日本がらみの男・日本―台湾はIHFの要請で日本開催を検討中、女・日本―中国戦は日本は日本で、中国は4月23、25日中国でと互いに自国開催を主張している。

このうち、女子は、日本協会も最終的には、中国側の提案を受け入れることにしており、すでにコーチングスタッフには、その旨が伝えられた。

決勝は6月東京開催へ

また、日本協会は、3月の各会議で、男女決勝をカード（対戦国）いかんに拘らず、6月2、3日東京（駒沢）で行うことを検討している。

当初、日本協会は、男女とも日本が進出した場合のみ、決勝戦を日本へ誘致するとしていたものだが、急転、あらゆるケースで引き受けることとした。

これは、AHFに二人の理事を送りこんでいる立ち場上の問題と日本が決勝進出した場合、ホームコートの利を活かそうというものである。

この意向は、すでに渡辺和美IHF理事を通し、IHF、AHFに伝えられてもいるようだ。問題は、5月下旬の国際大会（19頁）とのからみだろう。

◇

日本協会、荒川清美理事長は、世界ジュニア選手権アジア予選の日本協会の考えかたを次のように明きらかにしている。

「日本がらみのカードは、男女とも経費面からみて、ホーム・アンド・アウエイとせず、2試合とも同一国開催が理想だ。

男子1回戦の日本―台湾は日本で行うことになろうが、女子1回戦の日本―中国は結局、中国へ行くことになろう。

男女決勝戦は日本で開催したい6月2、3日すでに会場も確保した。」

全日本ジュニア（アジア予選候補）決まる

日本協会強化部は、3月7日東京で開いた強化委員会で、コーチングスタッフ提出の「55年度全日本男、女ジュニア」を承認、日本協会へ報告した。

男、女ジュニアは、昨秋以降担当コーチによって精力的に強化計画が進められ、男女とも40名近い候補選手をノミネート、そのなかから今回の20名を決定した。

いずれも「第3回世界ジュニア選手権アジア予選候補選手」で、担当コーチによれば、同予選に出場する14～16名は、この20名からピックアップされる。

また、予選法式がナックアウトシステムとなったため、男女とも1回戦と決勝戦ではメンバーの入れ替えが行われそうだ。

本大会出場権を獲得した場合の代表選手は、今回の20名をいったん解団、新たに候補選手を選び、その中から14～16名を指名することも、明きらかにされた。

予選代表者を即本大会代表としない厳しさは、かねてからジュニア、シニアを問わず、求められていたものである。

木野実担当コーチは「この年代は、ただ大型というだけでは通用しない。スピードプレーができて得点力のある選手は、身長にこだわらずメンバーとした。実のところ、40名近い候補選手のレベルはほぼ同じ。20名にしぼるのは難しかった」という。

一方、女子では、6人の高校選手が加わった。いずれも、今春4月以降、日本リーグ所属の実業団入りが内定している選手だ。

葛生、山本は日立栃木、寺沢、石田はジャスコ、秋成は大和銀行、太田はプラザー工業である。

伊藤宏幸女子担当コーチは「このメンバーの中から、ロサンゼルス・オリンピック代表に一人でも二人でもよいから加わって欲しいから、それを大きな念願として選んだ」と期待をかけている。

昭和55年度全日本ジュニア

◇……男　子……◇

・GK		
矢内　浩	（国士館大.20才）	189cm
□簑輪　正雄	（名城大.20）	187
□小野　司	（大阪体大.20）	184
・FP		
佐々木　功	（日体大.20）	188
□寺山　敦雄	（日体大.20）	178
庄司　寧	（中大.20）	179
中川　英二	（中大.20）	178
松岡　寛	（大崎電気.21）	180
東江　正作	（大崎電気.20）	170
立木　浩二	（名城大.20）	183
高砂　吉博	（同志社大.20）	184
○柏原　卓幸	（福岡大.20）	181
小山　裕司	（早大.20）	178
中島　昭博	（筑波大.20）	178
○玉村　健次	（大阪体大.20）	182
斉藤　修路	（三陽商会.20）	185
田口　隆	（日大.19）	182
山口　克博	（日鉄建材.19）	180
田口　勝利	（大同特殊鋼.19）	187
荷川取義浩	（中部工大.19）	185

・□印前回の世界ジュニア代表
・○印今春の世界学生選手権代表

◇……女　子……◇

・GK		
荒木　晴美	（立石電機.19才）	172cm
渡辺　利枝	（日本ビクター.19）	165
畑添真由美	（武庫川女大.19）	170
葛生　豊子	（栃木藤岡高.18）	168
・FP		
増永真奈美	（プラザー工業.20）	158
塩谷　佳子	（プラザー工業.20）	162
松下　泉	（プラザー工業.19）	163
鈴木　敬子	（筑波大.19）	172
河原　敦子	（筑波大.19）	160
手打ひろみ	（日立栃木.19）	161
前田　重子	（日立栃木.19）	163
志村　和子	（日本ビクター.20）	165
近藤ひろ子	（立石電機.19）	155
若林美智子	（ジャスコ.19）	166
斉藤　歩美	（東京重機工業.19）	164
山本三千代	（群女短大付高.18）	171
寺沢　路子	（市邨学園.18）	167
石田　裕子	（山陽女高.18）	166
秋成　圭子	（夙川学院.18）	165
太田　尚美	（小松市女高.18）	160

全日本男子

ヨーロッパで5連勝

クウェート国際（日本2位＝前号既報）に出場した全日本男子は、2月17日ヨーロッパへ渡り、西ドイツ、ベルギーで親善試合、5戦全勝の成績をあげ、世界選手権Bグループ（フランス）見学後、3月4日夜、帰国した。

西ドイツでの第1戦（遠征第6戦）は、2月18日スタインハイマー・ライダーホールでTV・コルンヴェストハイムとの間に行われた。

日本 29（16—11、13—14）25 TV・コルンヴェストハイム

	【日本】	得
GK	大畑	0
GK	福井	0
FP	大原	7
FP	関	2
FP	蒲生	7
FP	津川	3
FP	斉藤幸	1
FP	山本	4
FP	斉藤将	1
FP	志賀	1
FP	池之上	2
FP	穂積	1
PT	（3）	29

○…相手のTV・Kは、ウォルテンベルグ地域1部の現在2位、全国リーグから数えれば3部の所属だったが、レーマン、バルターシャイブルら主力の攻撃は、なかなか鋭いものがあった。

日本は、暑いクウェートから冬の西ドイツへ来て好調なわけはなかったが、前半10分から、じわじわと点差をあけ、後半5分19—13 20分25—19、順当勝ちした。

◇

西ドイツ・第2戦は19日、ラールで南バーデン地域選抜軍との1回戦として行われた。

日本 32（14—10、18—15）25 南バーデン地域選抜軍

	【南バーデン】	得
GK	エッシェル	0
GK	ボルツ	0
FP	メルケル	1
FP	ベーラー	2
FP	ボーエルト	4
FP	V・ブリエル	2
FP	バインス	2
FP	ゲング	3
FP	カンサー	4
FP	ブッシュ	2
FP	P・ゲッペルト	2
FP	ストローム	3
PT		25

	【日本】	得
GK	岡部	0
GK	福井	0
FP	山本	4
FP	関	1
FP	津川	5
FP	蒲生	8
FP	穂積	3
FP	大原	5
FP	斉藤将	5
FP	志賀	0
FP	中本	0
FP	池ノ上	1
PT	（1）	32

○…西ドイツ連盟(DHB)は、全国を17のゾーンに分けているが「南バーデン」はその一つ、南ドイツ連盟の主力地域でもある。

日本は前半20分までピタリと食いつかれたが、27分13—8としたあたりから攻撃が多彩となり、一気に相手を突き放した。

◇

西ドイツ・第3戦は20日、ヴィルスタッドで南バーデン地域選抜軍との2回戦として行われた。

日本 28（14—8、14—12）20 南バーデン地域選抜軍

	【南バーデン】	得
GK	エッシェル	0
GK	ボルツ	0
FP	メルケル	0
FP	カンサー	0
FP	ストローム	4
FP	ルツシュマン	4
FP	S・ハック	4
FP	P・ゲッペルト	4
FP	ボーエルト	0
FP	ゲング	0
FP	バイス	0
FP	ブッシュ	0
PT		20

	【日本】	得
GK	岡部	0
GK	大畑	0
FP	山本	2
FP	津川	2
FP	蒲生	3
FP	斉藤将	2
FP	斉藤幸	3
FP	志賀	2
FP	池ノ上	4
FP	大原	5
FP	関	1
FP	穂積	3
PT	（0）	28

○…相手は前日とほぼ同じメンバー。経過も同じようなものだったが、日本は前半20分8—7から大原、津川らの巧技で一気に6点差、後半も攻めまくって5分18—9、大勢を決めた。

ベルギーに軽く2連勝

ベルギーでの第1戦（遠征第9戦）は2月25日ホボーケンのスルクプリエ・スポーツホールで、ベルギー・ナショナルとの1回戦として行われた。

日本 27（14—13、13—11）24 ベルギー

○…ベルギーとは初対戦。日本は〝初顔〟を意識しすぎて、攻守ともに動きがギコチなく、前半8分6—6から10—6とリードした場面も、すぐにベルギーの反撃を許し28分13—13に追いつかれた。

	【ベルギー】
GK	メルテン
GK	ボック
FP	ベルホフスタット
FP	フォンテーヌ
FP	シュールマン
FP	コルネリ
FP	ブリエゲール
FP	ビレムセン
FP	マエ
FP	シャポー
FP	ヤコブス
FP	ブローエルス
PT	24

	【日本】	得
GK	福井	0
GK	岡部	0
FP	津川	3
FP	斉藤将	0
FP	山本	3
FP	蒲生	10
FP	関	4
FP	大原	2
FP	斉藤幸	2
FP	池ノ上	3
FP	中本	0
FP	志賀	0
PT	（3）	27

◇その他の出場者【日】GK大畑 FP穂積（いずれも得0）

（注）ベルギーの個人得点不明

日本は、前半終了間ぎわ、蒲生が逆速攻から1点をリードし、この僅小差を後半なかばまで持ちこんだ。

日本がどうにか勝負のメドをつけたのは、後半17分蒲生、18分大原、21分津川とたたみかけて24—20とした場面。

ベルギーも粘って28分24—26としたが、日本は29分山本のカットインでダメ押し、勝利を握った。

◇

ベルギー、第2戦（遠征最終戦）は、26日ベルギー・ナショナルとの2回戦として行われた。

日本 25（10—7、15—8）15 ベルギー

	【日本】	得
GK	福井	0
GK	大畑	0
FP	津川	2
FP	蒲生	4
FP	穂積	2
FP	大原	3
FP	山本	8
FP	関	1
FP	斉藤将	2
FP	池ノ上	1
FP	志賀	1
FP	斉藤幸	1
PT	（3）	25

◇その他の出場者【日】GK岡部、FP中本（いずれも得0）

（注）ベルギーのメンバーは前試合に同じ、個人得点不明。

○…第1戦で相手の手の内が分かったせいか日本は、スタートからのびのびと戦かい、前半20分5—6から一気に逆転、後半8分には16—9と大差をつけた。

ベルギーは、攻撃力には、みるべきものがあったが、守備はもろく、大原、山本らの鋭い動きに振り廻された。

ベルギー・ハンドボール界は、伝統はあるものの、ヨーロッパ各国に比べてスケールが小さく、Bグループにはい上がるのも苦しい感じを受けた。

全日本・竹野奉昭監督の話 クウェート国際でクウェートに苦汁をのまされたのをはじめ、ヨーロッパ転戦も、なにかすっきりしない試合がつづいた。

これは、12月の全日本総合以降各選手が実戦から遠ざかっていたことと、昨春以来、ナショナルとして試合らしい試合を一つも行っていないことが原因だ。

やはり、ナショナル・チームは大会(試合)がある、なしに拘らず月一回あるいは2カ月に1回は合宿なり実戦が必要だ。

5月の日本での国際大会までにもういちどチーム造りをして、世界選手権予選に備えたい。

関東学生、西ドイツへ遠征

第4回関東学生選抜西ドイツ研修遠征は3月4日から9日まで、関東学連・滝口三郎団長（明大出）以下役員9、男子選手24、女子選手15名が参加して行われた。

研修先は、今回も、西ドイツのトップゾーン、ヘッセン地域で、男子は6試合、女子は5試合の経験を積んだ。

男子は各試合とも接戦となったが、後半ゲームスタミナを欠いて押しこまれるケースが多く1勝1分4敗。

女子は、緒戦で全国リーグ所属の強豪TSV・RW・アウエルバッハと対戦、惜敗したが、その他の試合ではクイックプレーがよく活き3勝2敗と勝ち越した。

▼男子▽第1戦（3月4日、ベンスハイム）

関東学生 17（6―9、11―7）16 TSV・ロットバイス・アウェルバッハ

▽第2戦（5日、クリフテル）

ヘッセン州選抜 24（12―10、12―8）18 関東学生

▽第3戦（6日、アシャフェンブルグ）

TV・グラッドバッハ 24（11―11、13―9）20 関東学生

▽第4戦（7日、ヒュッテンベルグ）

TV・ヒュッテンベルク第2チーム 24（13―4、11―13）17 関東学生

▽第5戦（8日、ビューディンゲン）

HC・ビューディンゲン 25（16―7、9―12）19 関東学生

▽第6戦＝最終戦（9日、ニッダーハーレ）

関東学生 10（4―9、6―1）10 フランクフルト地区リーグ選抜
引き分け

▼女子▽第1戦（4日、ベンスハイム）

TSV・ロットバイス・アウエルバッハ 18（10―8、8―6）14 関東学生

【関東】	得		得	【TSV・R・A】
久保	0	GK	0	ブラフ
小野	0	GK	0	ハーベルメール
岩本	0	FP	0	グラムバルト
山口	3	FP	0	ローゼンバーガー
加藤	5	FP	1	ハムマン
岩田	0	FP	2	ナールガング
上水流	0	FP	7	ストーム
石井	1	FP	0	バイエル
後藤	4	FP	5	コバチェフ
下山	1	FP	1	ユーラー
大森	0	FP	2	クレンク
吉田	0	FP		
	14	（4） PT （2）	18	

▽第2戦（5日、クリフテル）

ヘッセン州ジュニア選抜 17（9―7、8―4）11 関東学生

▽第3戦（6日、アシャフェンブルク）

関東学生 20（10―4、10―5）9 アシャフェンブルク選抜

▽第4戦（8日、ビューディンゲン）

関東学生 16（3―4、13―6）10 HC・ビューディンゲン

▽第5戦＝最終戦（9日、ニッダーハーレ）

関東学生 15（6―9、9―5）14 フランクフルト選抜

関東学生訪独メンバー

○…男　子…○

K 矢内（国士館）0
佐藤（筑　波）0
森田（日　大）0
杉山（明　治）0
F 佐々木（日　体）14
三浦（日　体）15
金丸（日　体）2
寺山（日　体）4
鈴木（中　央）4
中川（中　央）15
庄司（中　央）2
実方（中　央）15
阿部（早稲田）3
北見（早稲田）11
村越（早稲田）1
中浦（筑　波）2
河野（筑　波）3
古屋（筑　波）1
志村（慶　応）0
江川（慶　応）3
田口（日　大）4
池田（国士館）0
森重（明　治）1
小早川（東　海）1

○…女　子…○

K 久保（筑　波）0
小野（日　体）0
F 加藤（日　体）23
岩田（日　体）0
後藤（日　体）13
吉田（日　体）0
石井（日　体）2
下山（日女体）5
大森（日女体）1
金井（日女体）7
岩本（筑　波）0
上水流（筑　波）10
山口（筑　波）14
寺田（東女体）1
内山（東女体）0

・右欄数字は今遠征の通算得点

東西対抗は6月大阪で

全日本学連は、このほど56年度の主要日程を次のように内定した。

例年と異るのは、東西対抗を6月に移したこと。これは、9月に試験期が重なる地域が多くなったためで、大阪開催は36年の豊中市服部競技場（11人制）以来である。

▽第31回（女子第13回）東西対抗、6月7日・大阪市東淀川体育館

▽第20回（女子第11回）西日本学生選手権、7月3～6日・福岡

▽第3回東日本学生選手権　8月19～23日・山梨県甲府市

▽第24回（女子第17回）全日本学生選手権　11月・東京

7月に初の全国クラブ選手権

全国の愛好者が待望していたクラブチームの全国選手権が、今夏7月京都府舞鶴市で行われることに決まった。

日本協会は、普及部が二年近くにわたり調査、研究を進めていた「全国クラブ選手権開催問題」をこのほど集約、実施に踏み切ることとなった。

これをうけて普及部では、実施要項の作成を急ぎ、3月26日、旧日本協会の有志理事会に提案、承認を得た。旧日本協会の大きな置きみやげといえる。

実施要項によれば、第1回選手権は7月3、4、5の3日間、京都府舞鶴市の舞鶴市体育館、海上自衛隊舞鶴体育館、舞鶴教育隊体育館で行われる。

参加チームは、今年に限り男女とも各都道府県協会から1チームの推薦をうける「全県システム」だが、来年度以降はブロック推薦によって割当したチーム数に〝限定〟される。

注目の参加資格は、男女とも全日本学連、全日本実連に登録したチーム及び個人は参加できず、全日本教職員連盟と全日本自衛隊連盟は、女子に限り個人は参加できる、とされた。

第1回選手権の申しこみ〆切日は6月6日、参加料は1チーム一万円となっている。

全日本J敗れる　（速報）第8回日韓男子社会人交流の第4戦に組みこまれた全日本ジュニア×韓国社会人選抜は、3月27日横浜・平沼記念体育館で行われ、ナショナルプレイヤー7人をもつ韓国が33―12（前半17―7）で、調整途上の全日本ジュニアをねじふせた。韓国社会人選抜は5戦全勝で帰国した。

6年目迎える日本リーグ

安藤純光
（日本リーグ運営委員長）

日本ハンドボールリーグが発足して5年を経過、本年は第6回をかぞえるに到った。この間、全国各地の開催地の絶大な支援と所属各チームの協力、そして各開催地でのハンドボールファンの声援を得て年々回を重ねるごとに盛大に開催されるようになりました。

しかし、現状は決定して満足すべき状態ではない。リーグ運営委員会ではその都度リーグ発展の方向を討議し、研究を続けています

「より高度なハンドボール技術と良いゲームを多くの人々に見てもらおう」という主旨でスタートしたリーグには、まだまだ解決・改善されなければならない幾多の課題が山積しています。日本ハンドボールリーグ発展の第2段階と考えられる第6回を迎えるにあたり、これらの課題のできるだけ多くを解消して、より満足の得られるリーグにしていかなければなりません。運営委員の諸氏はもちろんのこと、加盟各チームの関係者各位におかれても倍旧の健闘をお願いします。とくに各チームの競技力のアップは、課題の解決のための大きな力となるので鋭意努力されるようお願いします。

いつも変らぬ声援と激励をくださるファンの皆さんからも、一層の叱咤激励をより盛大な声援をお願いします。

さて、第6回日本ハンドボールリーグは、男子は6チームによる2回総当り（前期・後期）・女子は8チームによる1回総当りとして男子と平行して来る6月13日(土)より開催されることになりました2部リーグも同時期に男子は8チームの1回総当り、女子は3チームの2回総当りで開催されることになりました。4月4日の運営委員会において、第6回リーグの全スケジュールと組み合せが決定されるので、次号の本誌に掲載することができると思います。

各チームが新年度を前に、どれだけ新戦力を獲得したか、どれだけチーム力が向上したかが前期の見どころとなるでしょう。男子の部では、大同特殊鋼が4年連続リーグの栄冠を手にすることができるか？　これに対する湧永薬品を筆頭に大同の行手に立ちはだかることができるか？　蒲生晴明（大同）が今回もまた最多得点賞を獲得するのか、あるいは彼をしのぐプレイヤーが出現するか？　など興味の多いリーグになります

男子2部は、後掲のように新らたに中村荷役、大阪ガスの参加を得て8チームとなりました。先に行なわれた入替戦でも1点に泣いた大崎電気は、1部復帰を果せず今回も2部所属となります。三景そして新加盟の中村荷役・大阪ガスの活躍が期待されます。

女子の部に目を転じると、4強あるいは5強といわれているように栄冠の行方は予測を許さない立石電機は前回王座に帰り咲き意気軒昂、ブラザー、ジャスコ、日立も虎視眈々王座をねらっている前回5位にあまんじたビクターも今回にかける意気ごみは盛んです念願の一部復帰を果したムネカタがどう戦うか注目されるところである。前後期を通して1回総当りであるために、各チームにとって1戦1々が大きな岐路となります多くの好ゲームが期待できるでしょう。女子2部は、チーム数の増が期待できず残念であります。戦力不足から2部転落を余儀なくされた東京重機そして大和銀行が1部昇格を目指して奮戦するでしょう。

ハイレベルのハンドボール技術の展開そして好ゲームの連続は、先に述べた課題の解決に不可欠なものであります。もちろんチームはより高い競技力を目指して努力しなければなりませんが、ファンの皆さんの声援もまた大きな原動力となります。今回もまたより大きな声援をくださいますようにお願い致します。

中村荷役運輸と大阪ガス
日本リーグ(男子)に加盟

日本リーグ運営委員会は、例年どおり、新シーズンの日程編成を前に、各都道府県協会と各全国連盟から新加盟（2部）チームを募っていたが、このほど、男子に中村荷役運輸(東京)と大阪ガス（大阪）が意思表示した。

両チームとも、全日本実連が推せんした男子6チームに含まれており、大阪ガスは、大阪協会からも、推せんをうけていた。

両チームの実力から日本リーグでは、加盟を承認の意向で、これによって男子は1部6、2部8の大世帯となった。

中村荷役運輸は昨春発足したばかりの新造、大阪ガスは〇年部創立のキャリアを持つ。

女子2部には新加盟を希望するチームはなかった。

ところで、中村、大阪の新加盟によって、男子2部はエントリーが手いっぱいのところまできたため、来年以降の新加盟に新たな課題を残すことになった。

現在の企業チームの意欲から推せば、来年以降も確実に1～2チームづつ加盟を希望するものとみられ、3部を新設するか、2部をいくつかのグループに分けて、予選、決勝ラウンドを行うかの選択を迫られよう。

また、加盟チームの増加が、日本ハンドボール界の懸案とする「地域リーグ」発足の引き金になる期待もかけられる。

本田技研鈴鹿が参加
ホンコン・トーナメント

日本協会は、今月19日から5日間ホンコンのクイーン・エリザベススタディアムで行われる男子国際トーナメント「インター・ポートカップ」に、本田技研鈴鹿（三重）が参加することになった、と発表した。

本田技研鈴鹿は、日本リーグ、全日本総合各3位の実績で推されたものだが、岩井正樹団長ら一行17名は4月17日大阪国際空港発、26日帰国の予定。

(注) 大会の9月延期説もある。

女子選手のスポーツ検診を実施して

日本協会強化部トレーニング・ドクター群報告

井上和彦
（自治医科大学整形外科）

スポーツの究極の目的は身体と精神を最高の状態でプレーすることであろう。そして、我々スポーツ医学を学ぶ者の使命は、スポーツ選手が身体と精神を最高の状態で使用可能なように、外傷を予防し、治療し、そして健康管理を行うことと考えている。その他に、優秀スポーツ選手は精神力の強さスポーツテクニックそして基礎体力を有している。この基礎体力で日本選手が外国選手に悩まされている事はスポーツの多くの領域で生じている。

スポーツ医学では、この基礎体力は十分解明可能であり、優秀選手には、各種スポーツ別にパターンが存在するであろうと、男子スポーツ選手（ラグビー、野球、柔道等）について調査してきた。このパターンが解明されれば、少くとも必要条件の一つを満たすことが出来るようにトレーニングが可能である。これがスポーツ競技における医学のフィードバックであり、重要な事である。

外国（特に東独、米国、ソ連等）では、このような形式で選手の体力作りから体力変換まで行い十分な成果を上げている事は多くに知られている。

このような意味を含めて女子ハンドボール選手（全日本、全日本ジュニア、実業団チーム）の体力測定と血液・尿検査を施行して来た。そしてこれらデータの解析はコンピューターを使用した。

この結果、驚くべき事が判明した。女子のスポーツ貧血は従来いわれて来たことであるが、その割合は（私が予想したよりはるかに高く、そして）全日本選手に最も高かった。コンピューターの解析によると貧血と12分間走（12分間にどの位の距離を走れるか）の持久力が、強く関係を有していた。つまり貧血が、ハンドボールでは非常に重要な持久力、耐久力に大きく関与しているのがわかった。女子選手では、ハンドボールのテクニックは上手であるが、持久力がないために一流選手になれなかったり、選手寿命を短かくしたりする事が多くの例に存在したであろう。貧血の原因としては、いくつかの原因が考えられている。原因としては、①激しい運動により赤血球が衝突したり機械的に破壊される、②腎臓等より運動により溶血因子が出現して赤血球の膜の抵抗性を低下させる、③蛋白質の補給が少なく、赤血球の新生が阻害される、④鉄代謝障害（赤血球を作るのに鉄分が必要であり、この利用がうまくいかない）と考えられており、この他に月経による出血、女性ホルモン等内分泌の問題が複雑に関連し合って、貧血が生じているのであろう。

従って女子でハンドボールを行っている人は、年に少くとも1回は血液検査をして、貧血の有無を確かめることを勧める。奨貧血である事がわかったら、血液中の鉄分が少ないなら鉄分を補給する様にしたいょう。その他にも貧血の原因はいくつかありますから調べて治療をすれば記録も向上するし、練習中の苦しさも少しはやわらぐはずである。

スポーツは身体と精神を最高の状態で使用することであり、短期的には、身体より、精神かスポーツ競技技術が優先するが、長期的になると身体をぬきにには考えられない。従って、十分な医学管理を行い、スポーツを遂行することは選手の技術向上にも、選手生活寿命の延長にも通じる所があると信じています。

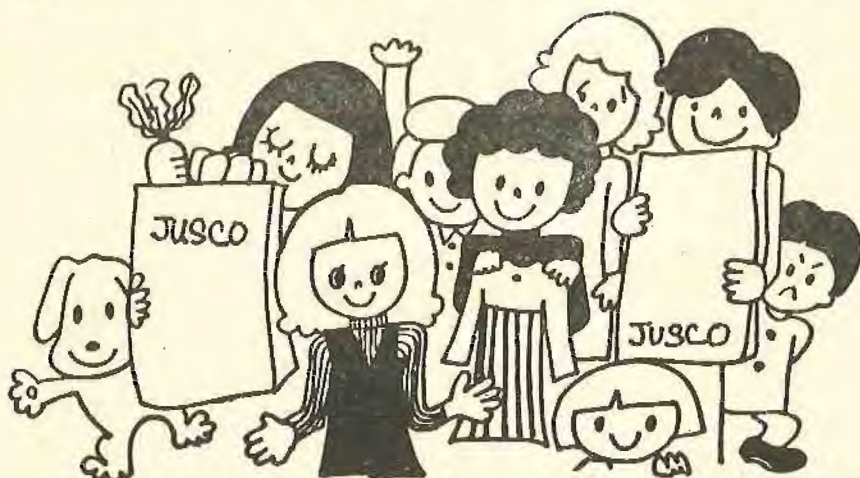
コンピュータ資料研究へ

日本協会強化部は、3月7日東京での強化委員こん談会で、全日本男子が、フランスの世界選手権Bグループ見学から持ち帰った大会当局配布の試合データー表などを、将来、国内でも採り入れるよう研究することとなった。

今回のデーターは、大手のコンピューター会社とコピー事務器会社が、フランス協会とタイアップして作成したもので、メンバー表得点表、得点経過表、反則・警告表、攻撃分析表などが、試合終了後10分以内に関係者、プレスなどに配られたという。

大きな大会で、こうしたシステムが採られたのは、一九七〇年の世界選手権（フランス）からだが年ごとに詳細となっている。

強化部ではトレーニングドクター群が、日本体協のデーター・バンクシステムの利用などと関連して、データ整備を強化する方向をとっているが、ビッグゲームの情勢分析は、コーチングスタッフも望んでいるだけに、期待される。



JUSCO
JUSCO



ポーランドが初優勝

世界選手権Bグループ

来年の世界選手権(西ドイツ)への五つの代表権をかけた第3回世界選手権Bグループは、2月21日から3月1日までフランスの各都市に12カ国(ヨーロッパ地域のみ)が集まり行われた。

6カ国づつ2組の予選リーグで2位までに入れば、世界選手権〝当確〟とあって、激しい試合がつづいたが、予想どおりポーランド、スウェーデン、チェコ、デンマークが勝ちあがり、残る一つの座をかけたスイス×フランス戦は、スイスが制勝、結局、五つの代表権はモスクワ・オリンピック組が順当に確保した。

Bグループの首位争いは、ポーランド×チェコの顔合せとなり、ポーランドが圧倒的な攻撃力で押しまくり初優勝した。

下位4カ国がCグループ落ちするが、そのなかにブルガリア、ノルウェーが含まれたのは意外。

なお、この大会の予選リーグ前半と順位決定ラウンドを全日本男子代表選手が見学した。

▽予選リーグA組

ポーランド 29—20 オランダ
アイスランド 27—13 オーストリア
スウェーデン 22—18 フランス
ポーランド 27—23 フランス
アイスランド 23—17 オランダ
スウェーデン 21—17 オーストリア
ポーランド 25—9 オーストリア
フランス 17—16 オランダ
スウェーデン 16—15 アイスランド
オランダ 14—12 オーストリア
ポーランド 24(12—9、12—8)17 スウェーデン
フランス 23—15 アイスランド
フランス 19—12 オーストリア
スウェーデン 18(分)18 オランダ
ポーランド 25—16 アイスランド

【順位】①ポーランド5戦全勝②スウェーデン3勝1分1敗③フランス3勝2敗④アイスランド2勝3敗⑤オランダ1勝1分3敗⑥オーストリア5敗

▽同B組

スイス 18—17 ブルガリア
デンマーク 22—15 イスラエル
チェコ 21—15 ノルウェー
チェコ 28—15 イスラエル
スイス 18—17 ノルウェー
ブルガリア 21—20 デンマーク
スイス 21—19 イスラエル
チェコ 17(8—9、9—6)15 デンマーク
ブルガリア 15—14 ノルウェー
イスラエル 26(分)26 ブルガリア
チェコ 14—12 スイス
デンマーク 26—17 ノルウェー
デンマーク 25—20 スイス
チェコ 22—17 ブルガリア
イスラエル 21—20 ノルウェー

【順位】①チェコ5戦全勝②デンマーク3勝2敗(得失点差19)③スイス3勝2敗(マイナス3)④イスラエル2勝3敗⑤ブルガリア2勝3敗⑥ノルウェー5敗

▽順位決定戦・11〜12位決定戦

オーストリア 22(11—10、11—7)17 ノルウェー

・9〜10位決定戦

ブルガリア 25(12—8、6—10 … 4—1、3—0)20 オランダ

・7〜8位決定戦

イスラエル 25(12—8、13—11)19 アイスランド

・5〜6位決定戦

スイス 21(12—10、9—8)18 フランス

・3〜4位決定戦

スウェーデン 23(9—11、14—10)21 デンマーク

・決勝戦

ポーランド 23(13—11、10—5)16 チェコ

Bグループコートサイド

□…全日本・竹野幸昭監督が現地で得た情報によるとAグループの予選リーグ組み分けの基準が次のように決まった。

▽第1シード、東ドイツ、ソ連、ルーマニア、ハンガリー

▽第2シード スペイン、ユーゴ、ポーランド、チェコ

▽第3シード 西ドイツ、スウェーデン、デンマーク、アジア大陸第1代表

▽第4シード スイス、アメリカ大陸代表、アフリカ大陸代表、アジア大陸第2代表。

□…世界学生(既報)の準優勝で意気あがるフランスは、この大会でも5位入賞を目指し、ファンも協会関係者も熱い応援をくりひろげた。

出足は2連敗と振わなかったがしだいに持ち直し、予定どおり(?)3位での予選通過。

Aグループ入りをかけたスイス戦は二千人近い観客のルーエン体育館に三千人近い観客が詰めかけたが18—21で惜敗、スタンドにため息をつかせた。

そのせいか、ポーランド×チェコの決勝(パリ)は、千七百人の観客しか集らず、今度は協会役員がため息……。

□…かつて日本とアジアの代表を争ったイスラエルの元気は、この大会目立ったことの一つ。

スイスに善戦、ブルガリアを降し、順位戦ではアイスランドを破り、Bグループ残留を決めた。

日本選手団を驚ろかせたのは、GKのE・セラ。すでに三十四才一九六六年からイスラエルのゴールを守りつづけ、七一年のミュンヘン・オリンピック予選で来日もしている。

イスラエルが、国際舞台で善戦健闘できるのはセラの力が大きいといわれるほどの選手だ。なお、大会の得点王はエース・グス(イスラエル)が39ゴールで獲得した。

□…一昨年来日したオーストリアは、見学の全日本選手とも顔なじみが多く、会場などで久々の交歓をしたが、成績はもう一つ。ある選手が声をひそめて「オーストリアや日本のような純アマはなかなか勝てないよ」

Aグループに12カ国

Bグループの終了で、来年2月西ドイツで行われる第10回世界選手権Aグループに出場16カ国のうち、12カ国が次のとおり決まった。

残る4カ国はアジア大陸からの2、アメリカ、アフリカ大陸からの各1で、各大陸とも4月末にエントリーを〆切り、今秋9〜10月に予選が行われる予定。

〔出場決定国〕西ドイツ(開催国、前回優勝)、東ドイツ、ソ連、ルーマニア、ハンガリー、スペイン、ユーゴ(以上モスクワ五輪上位6カ国)、ポーランド、チェコ、スウェーデン、デンマーク、スイス(以上Bグループ上位5カ国)

各地の記録

境港市クが4年連続

▼第11回鳥取県室内総合選手権（2月・境港市民体育館）

▽男子準々決勝
境港市ク　44―5　倉吉工高
倉吉ク　16（分）16　関金ク
PTC1―0で倉吉クの勝ち
境港工高　16―12　境港市役所
中部ク　22―17　境工OB

▽同準決勝
境港市ク　24―14　倉吉ク
中部ク　15（分）15　境港工高
PTC2―1で中部クの勝ち

▽同決勝
境港市ク　20（11―10　9―3）13　中部ク

▽女子1回戦（2試合）
米子ク　26―2　倉吉産業高
倉吉ク　不戦勝　米子東高

▽同準決勝
米子南商高　17―1　倉吉ク
米子ク　26―10　倉吉西高

▽同決勝
米子ク　14（8―5　6―6）11　米子南商高

54年4月号（第173号）から機関誌「ハンドボール」の刊行にたずさわっていたスタッフは、今号をもって任期を終え新スタッフと交替いたします

再三の発行遅延にも拘らずご協力いただいた全国関係者各位、読者各位に心からお礼を申しあげます。

編集長　平岡　秀雄
スタッフ　一　同

県岐阜商、男女完勝は成らず

▼岐阜県高校新人選手権（2月・富田女高体育館）

▽男子準々決勝
県岐阜商　26―9　岐阜東
多治見北　13―9　岐山
中京商　14―6　郡上
岐阜北　23―14　大垣農

▽同準決勝
県岐阜商　14―4　多治見北
岐阜北　14―10　中京商

▽同決勝
県岐阜商　14（6―1　8―1）2　岐阜北

▽女子準々決勝
県岐阜商　12―4　海津今尾
羽島北　10―1　中津
本巣　9―6　斐太
富田女　14―3　養老女商

▽同準決勝
県岐阜商　10―4　羽島北
富田女　10―5　本巣

▽同決勝
富田女　16（8―5　8―3）8　県岐阜商

女子で丸亀が優勝

▼第4回香川県高校選抜トーナメント（1月・高松南高）

▽男子準々決勝
高松南　18―7　高松
坂出工　13―8　丸亀
高松工芸　15―10　高松商
三本松　21―12　高松一

▽同準決勝
高松南　15―8　坂出工
高松工芸　12―11　三本松

▽同決勝
高松南　14―12　高松工芸

▽女子準々決勝
丸亀　12―1　高松一
高松商　8―3　高松
三本松　10―4　高松西
高松南　14―9　高松東

▽同準決勝
丸亀　19―1　高松商
三本松　8―4　高松南

▽同決勝
丸亀　10―3　三本松

前原OG、大逆転で優勝

▼第11回沖縄県選抜競技会（2月・奥武山体育館）

▽成年男子準々決勝
沖縄教員　36―26　コザ・ク
送球隊　28（延）25　那覇商OB
興南OB　30―25　沖縄国際大
前原OB　28―26　琉球大

▽同準決勝
沖縄教員　27―13　送球隊
興南OB　28―23　前原OB

▽同決勝
沖縄教員　37（19―10　18―15）25　興南OB

▽同女子準決勝
前原OG　13―11　興南OG
浦添ク　13―8　知念OG

▽同決勝
前原OG　14（5―11　9―2）13　浦添ク

▽高校男子決勝
前原　14（8―4　6―5）9　ゴザ

▽同女子決勝
前原　10（4―1　6―0）1　豊見城

ポストクラブ頑張る

▼静岡県一般選手権（2月・静岡市民体育館）

▽男子準決勝
清商ク　26―21　富士ク
気賀ク　21―17　静農ク

▽同決勝
気賀ク　17（8―7　9―8）15　清商ク

▽女子準決勝
ポスト・ク　11―5　静岡城北ク
二俣ク　11―10　清商ク

▽同決勝
ポスト・ク　7（3―2　4―4）6　二俣ク

▼静岡県高校新人大会（2月・静岡市民体育館）

▽男子準決勝
静岡農　11―9　御殿場
清水商　25―14　静岡工

▽同決勝
静岡農　18（10―6　8―6）12　清水商

▽女子準決勝
静岡女北　17―2　御殿場
清水商　9―8　二俣

▽同決勝
静岡城北　14（8―1　6―4）5　清水商

『ハンドボール』

56年4月号（第195号）目次

【表紙写真】3月11日、文部省は日本協会の財団法人化を許可した。

まえへ9曲 うしろへ9曲

デジタル選曲

マイクロコンピューター搭載。どこまで進化するのかラジオカセット。

メタル&フェザータッチ



マイクロコンピューター
ステレオ パディスコ 8800

TRK-8800 ¥84,800

●高級デッキなみの操作感覚フェザータッチ ●2モーターシステムが可能にした高精度回転ワウ・フラッター0.06%(W.R.M.S) ●メタルテープの性能をフルに引き出すメタル対応ヘッド搭載 ●曲の頭出し思いのまま、繰り返し聞けるリピートデジタル選曲機構 ●テープを初めから終わりまで繰り返し自動演奏するオートリワインドプレイ機構

●2ウェイ・4スピーカーシステム(16cmウーハー×2+5cmツイーター×2) ●実用最大出力10W(5W+5W)EIAJ/DC ●大きさ 幅55.6×高さ31.8×奥行17.3(cm) ●重さ 8kg(乾電池含む)

★選曲のために、曲と曲との間に3秒間以上の無信号部分が必要です。

品質を大切にする〈技術の日立〉

HITACHI RADIO CASSETTE RECORDER



上手に使って上手に節電



くらしを豊かに…
「日立新技術シリーズ」

日立の新技術・新アイデアから生まれた代表商品です。このエレクトロニクスの基本技術は、日立カセットレコーダーに共通して生かされています。



日立家電販売株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館) TEL.(03)502-2111

日立クレジット株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館) TEL.(03)503-2111

お求めは、お手軽なお支払い 日立のクレジット

●日立カセットレコーダーで録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。●日立カセットレコーダーには保証書がついています。ご購入の際には必ず記入事項をご確認のうえ、お受取りになり大切に保存してください。

★ご購入金額から頭金を差引いた金額が1万2千円から100万円までの場合、クレジットがご利用いただけます。
★商品のお問い合わせ、クレジットのご相談、カタログのご請求は、お近くの日立の家電品取扱店へお気軽にどうぞ。

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第一九五号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
昭和五六年三月二十五日 印刷
昭和五六年四月一日 発行
東京都渋谷区神南一—一—一
電話(467)七〇九七
振替 六—五八三四八番
編集兼発行人 荒川清美
定価三百五拾円
(年間購読料三千三百円)



一歩速く。

鋭いダッシュ、確かなストップがゲーム展開を有利にする。



アシックスタイガーのハンドボールシューズはスタートダッシュが鋭く速くでき、ストップが確実にできるシューズマシンです。
だから どのような状況のプレーにも「一歩速く」スムースに動くことができます。従ってディフェンスを抜くことも容易でノーマークの状況をつくり出すことができます。また「攻」から「守」への転換もスムースで速くできます。
勝つために この一足を ぜひ。

asics TIGER
Handball Shoes
ハンドボールBK

ハンドボールBK(THH703) ■甲被は牛皮カラーベロア。 ■底はノンスリップ意匠底。 ■タコの吸盤の原理を応用した特殊ソール。
■レッド×ホワイト、ブルー×ホワイト ■サイズ 22.5〜28.0cm